

令和元年度

大 和 の 教 育

大和市教育委員会

大 和 市 民 憲 章

自然と人間との健全な調和のとれた大和市の輝かしい未来を目ざして、わたくしたちは、大和市民としての自覚と誇りをもって、市民ひとりひとりのしあわせを願いながら、ここに市民憲章を定めます。

1. みんなで力をあわせて、
若さと明るさにあふれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
友情としあわせにつつまれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
教養と文化の豊かなまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
自然と環境の美しいまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
きまりと平和を守るまちをつくりましょう。

昭和 54 年 2 月 1 日制定

大和市教育目標

わたくしたち大和市民は、文化の香り高い、活力ある大和市づくりを目指している。そのためには、「人間尊重の精神」を基盤としなければならない。

その基盤の上に、自分をしっかりと持ち、他の人々と連帯できる創造性豊かな人間として自己を磨き伸ばしていくことが求められる。

- 心身ともに健康な人
- 自立心を持つ人
- 学び続ける意欲を持つ人
- 思いやりの心を持つ人
- 自然を大切にする人
- 愛情と信頼に結ばれた家庭づくりをする人
- 近隣の人たちと共に生きる人
- 豊かな文化をはぐくむ人
- 国際社会の一員として行動できる人

平成元年4月1日制定

社会教育の基本目標

社会構造の成熟化により、人々の学習への関心や要求は多様化し、内容も高度・専門化している。また活動の場は、時間的にも空間的にも拡大している。

こうした背景から生まれた生涯学習社会において、社会教育は大変重要な役割を占め、その期待はますます大きくなってきている。

そこで、家庭・学校・地域社会の総合的な協力・連携を図り、学習機会の拡充・学習活動への支援など、社会教育活動の推進を積極的に展開する必要がある。

そのためには「大和市教育目標」を基盤に、

- (1) 健康で明るく、愛情に満ちた家庭を築く
- (2) 豊かな心を持ち、ゆとりある地域づくりに参加する
- (3) 平和を愛し、国際的な視野を身につける
- (4) 自然とふれあい、うるおいある文化を育む
- (5) 楽しく学び、人生に生きがいを持つ

など、主体的に行動できる人間形成をめざすことを目標とする。

平成4年4月14日制定

大和市の宣言

明るくたくましい青少年が育つ都市宣言

大和市のあすをにない、友愛にみちた住みよい社会を築くのは青少年である。

青少年が自己の行動に自覚と責任をもち、心身ともに明るくたくましく成長することは、すべての市民の願いである。

この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校をはじめ地域社会が一体となり、市民の総力をあげて青少年育成の施策を推進することを決意し、ここに大和市を「明るくたくましい青少年が育つ都市」とすることを宣言する。

昭和 57 年 4 月 1 日制定

大和 市 平 和 都 市 宣 言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、地球上では依然として武力紛争が絶え間なく続き、際限のない軍備拡大は核軍備の増強をも招来し、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

大和市は、常にわが国の国是である「持たず、造らず、持ち込ませず」の非核三原則が厳正に遵守されることを願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界に強く訴えるとともに、人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため、ここに平和都市となることを宣言する。

昭和 60 年 9 月 19 日制定

「 環 境 立 市 大 和 」 宣 言

太古より人類は 自然を愛し 自然の恵みに感謝し 自然と共に栄えてきました

大和市は 人と自然が共生し 良好な環境を確保するため 「大和市環境を守り育てる基本条例」を制定し環境問題に積極的に取り組んでいます 都市としての発展による環境問題は 依然として深刻です

環境問題の解決には 私たち一人ひとりが日々の生活の中で 環境について見つめ直し 環境を思いやる心をはぐくみ 広めていくことが重要と考えています

大和の快適な環境づくりを推進していくため 環境について学び 知り 考え そして環境に配慮できる人間の育成と更なる環境保全施策の展開を誓い ここに「環境立市 大和」を宣言します

平成 16 年 4 月 22 日

「健康都市 やまと」宣言

健康は、日々の生活の基本であり、幸福を追求するために、とても大切なものです。

都市で生活するわたしたち市民が、生き生きと暮らすためには、保健、福祉、医療などを通じて「人の健康」を守るとともに、安全で快適な都市環境が整う「まちの健康」、人と人とのあたたかな関係に支えられる「社会の健康」を育てていくことが重要です。

大和市は、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康都市」を目指すことを宣言します。

平成 21 年 2 月 1 日

「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

- ・「人生 100 年時代」を迎える超高齢社会では、一般に 65 歳以上を高齢者とする固定観念を変えていく必要があります。
- ・年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。
- ・支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70 歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成 30 年 4 月 11 日

目 次

大和市民憲章
大和市教育目標・社会教育の基本目標
明るくたくましい青少年が育つ都市宣言
大和市平和都市宣言
「環境立市 大和」宣言
「健康都市 やまと」宣言
「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

大和市の概要	8
(1) 沿 革	
(2) 地勢・位置	
(3) 人口・世帯	

教育行財政

1. 教育委員会	13
(1) 教育長・委員	
(2) 会 議	
(3) 教育委員会表彰	
2. 事務局等	19
(1) 組 織 図	
(2) 事 務 分 掌	
(3) 所属別・職名別職員一覧表	
3. 大和市の教育振興基本計画	25
4. 平成 31 年度 教育に係る当初予算	27
5. 教育費	28
(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移	
(2) 教育費目的別決算額の推移	
(3) 教育費性質別決算額の推移	

学校教育

1. 市立学校一覧	34
2. 学校施設の状況	35
3. 保有教室の内訳	36
4. 学校施設の整備状況	37
(1) 校舎等の防音工事	
(2) 耐震補強工事	
(3) 非構造部材の耐震化工事	
(4) 校舎等の増築工事	
5. 教育指導	40
(1) 学校訪問	
(2) 研 修	
(3) 研 究	
(4) 国際教育	
(5) 学校への助成等	

6.	児童・生徒及び教職員の推移	49
	(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数	
	(2) 年度別学校職員定数	
	(3) 教員の年齢別・男女別一覧	
7.	特別支援学級	52
8.	進路状況	52
9.	日本スポーツ振興センター	53
	(1) 掛金等の状況	
	(2) 災害発生状況	
10.	就学援助及び特別支援教育就学奨励	55
11.	学校給食	56
	(1) 調理方式別による学校数	
	(2) 学校給食の内容	
	(3) 単独調理校	
	(4) 学校給食共同調理場	
	(5) 職員構成	
	(6) 学校給食運営組織図	
	(7) 食数	
	(8) 学校給食優良校	
12.	教育研究所	61
	(1) 調査研究事業	
	(2) 研修事業	
	(3) 情報教育に関する事業	
	(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業	
	(5) 教育資料に関する事業	
13.	青少年相談室	74
	(1) 青少年相談員の活動	
	(2) 街頭補導の実施状況	
	(3) 青少年相談室の活動	
	(4) 青少年相談室の相談受理状況（電話相談・来室相談）	
	(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置	
	(6) 教育支援教室「まほろば教室」	

生涯学習

	社会教育委員	83
	生涯学習・社会教育等関連施設	85
○	文化振興課＜文化財保護＞	87
○	スポーツ課	103
	1. 体育関係団体の育成	
	2. スポーツ活動の活性化	
	3. スポーツ行事・教室の開催	
	4. スポーツ水準の向上	
	5. 体育施設	
○	図書館	125
	1. 図書館サービス	
	2. 学習センター図書室との連携	

3.	団体貸出事業の推進	
4.	健康都市図書館	
○	生涯学習センター	139
	社会教育指導員 平成30年度学習センターの利用状況(年間)	141
1.	生涯学習	
2.	図書・学び交流課学び交流担当	
3.	生涯学習センター(指定管理者やまとみらい)	
4.	つきみ野学習センター	
5.	林間学習センター	
6.	北部文化・スポーツ・子育てセンター：市民交流拠点ポラリス(指定管理者やまとみらい)	
7.	桜丘学習センター	
8.	渋谷学習センター	
9.	学習センター図書室	
○	青少年センター	213
1.	子ども活動の場づくり	
2.	青少年企画運営イベント	
3.	子どもの体験機会提供	
4.	青少年育成団体活動	
5.	学校・地域・家庭の連携推進	
6.	集計(参考)	
○	その他事業	235
	文化振興課<文化芸術の振興>	237
	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団	247
1.	スポーツを通じた心身の健全な育成を目的とする事業の企画及び実施	
2.	文化芸術を振興するための情報発信と活動機会の提供及び協働事業の開催	
3.	地域交流と社会貢献を主たる目的とするスポーツ、文化芸術及び緑化推進に関する活動拠点の管理運営及び整備	

付 録

教育施設一覧	259
教育年表	268
歴代教育委員会教育長・委員	278

大和市の概要

(1) 沿革

◇原始・古代（1192年以前）

大和市内における最古の人類の足跡は、今から約3万3千年前の旧石器時代（先土器時代）の遺跡で確認されています。市域を流れる引地川、境川に沿った台地には遺跡が点在し、発掘された石器類は、質・量ともに高い評価を得ています。数多くの石器類からは、当時の人々が狩猟中心の生活をしてきたことがしのべられます。

約1万2千年前ごろ、縄文時代になると、気候が温暖化し、動植物なども豊かになり、土器を使い始めて人々の生活も安定し、堅穴式住居に住むようになりました。市内にはこの縄文時代草創期の遺跡があり、日本最古の土器片が出土しています。

古代の市域は相模国高座郡深見郷に含まれていました。平安時代の中ごろに編さんされた「延喜式」の神名帳には、相模国の延喜式内社十三座の一つに深見神社が数えられています。また、10世紀ごろの堅穴式住居跡からは、当時の有力者の存在を思わせる石帯や硯などが出土しています。

◇中世（1192年ごろ～1590年ごろまで）

鎌倉に幕府が開かれるころ、市域は渋谷庄と称され、渋谷重国が治めていました。室町時代には市域の鶴間郷が足利氏の領地となり、正平7年（1352年）には南宗継が足利尊氏から市域の和田郷、深見郷の地頭職を与えられました。その後、戦国時代には後北条氏が相模国を支配し、市域は、その家臣たちによって治められていました。そのころ、保田筑後守など9人（福田開拓九人衆）が、今の福田地域に土着して開墾しています。

古道として知られている滝山街道（旧県道藤沢町田線）は、小田原城の重要な支城である玉縄城（鎌倉市）と滝山城（八王子市）を結び、境川沿いにある下鶴間、深見、上和田の城郭址にも近く、後北条氏の領国支配上重要な道の一つとされています。

◇近世（1590年ごろ～1867年ごろまで）

天正18年（1590年）、徳川家康が関東に入国。このころ、市域の村は、下鶴間村、深見村、上和田村、下和田村、福田村の5ヶ村で、のちに深見村から草柳村が分村し、さらに上・下草柳村に分かれました。

各村ごとに検地が行われ、領主に納める年貢の基準となる石高（米穀の生産高）が決められました。また、宗門人別帳の作成などにより、戸数・人口などが調べられ、近世農村としての基礎が固められました。江戸時代後期・文政年間の市域の戸数は646戸と記されています。

大山参りの道として利用された矢倉沢往還の宿駅の一つである下鶴間宿は旅籠や茶店などがあり、天保2年（1831年）9月、渡辺崋山がこの宿に1泊し、付近の様子を「游相日記」に書きとめています。

◇近代・現代（1867年ごろ以降）

明治初年、神奈川県内の町村はめまぐるしく転換します。市域は明治4年（1871年）、廃藩置県により神奈川県に所属しました。明治6年（1873年）に行政区画として区・番組制が施行された以来、

2度の地方制度の変遷を経て、明治22年（1889年）に現在の行政区画の基礎となる町村制が施行され、下鶴間村、深見村、上草柳村、下草柳村が合併して鶴見村に、上和田村、下和田村、福田村は長後村、高倉村と合併して渋谷村になりました。

その後、鶴見村では分村問題が発生し、それを収拾するため明治24年（1891年）9月、村名を大和村と改称。ここに「大和」の名称が誕生しました。

大正15年（1926年）5月に神中鉄道（現在の相模鉄道本線）、昭和4年（1929年）4月には小田急江ノ島線が開通。昭和17年（1942年）、現在の厚木基地に相模野海軍航空隊が、昭和18年（1943年）には高座海軍工廠の関連施設が設置され軍都の色彩を濃くしていく中で、同年11月3日に大和村が、翌19年（1944年）11月3日には渋谷村がそれぞれ町制を施行しました。

昭和20年（1945年）、終戦を迎え、連合軍最高司令官マッカーサー元帥が厚木基地に到着。後に、同基地は、米国海軍厚木航空基地となり、町の様相が大きく変ぼうしました。

昭和30年（1955年）4月、渋谷町の長後、高倉が藤沢市に編入し、福田、上和田、下和田が渋谷村となり、翌31年（1956年）9月、大和町と渋谷村が合併、昭和34年（1959年）2月1日に県下14番目の市となり市制を施行しました。

昭和40年代から市内各所で土地区画整理事業が実施され、昭和45年（1970年）5月には人口10万人となり、昭和51年（1976年）に東急田園都市線がつきみ野駅まで開通し、昭和59年（1984年）には同線が中央林間駅と接続しました。

平成元年（1989年）2月1日には市制施行30周年を迎え、県下の中堅都市として発展を続け、平成12年11月1日には、全国初の特例市となりました。

市制施行50周年を迎えた平成21年（2009年）2月1日には、「健康都市 やまと」宣言を行い、現在、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた街づくりを進めています。

平成26年（2014年）4月には、「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行い、平成30年（2018年）4月には、「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行い、高齢者の生涯現役意識を高め、いつまでも生き生きと活躍していただくことを願い、高齢者に対する認識を示しました。

(2) 地勢・位置

大和市は神奈川県のおぼ中央部に位置し、都心から40キロメートル圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。

鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、狭い市域に8駅があります。また道路網も国道246号線や国道467号線、丸子中山茅ヶ崎線などが走り、交通の利便性に恵まれています。

極東	東経	139° 28' 50"	極南	北緯	35° 25' 23"
極西	東経	139° 25' 45"	極北	北緯	35° 31' 14"

海拔	市役所位置	66.8m	面積	27.09km ²
	最高	91.149m	東西	3.22km
	最低	28.328m	南北	9.79km

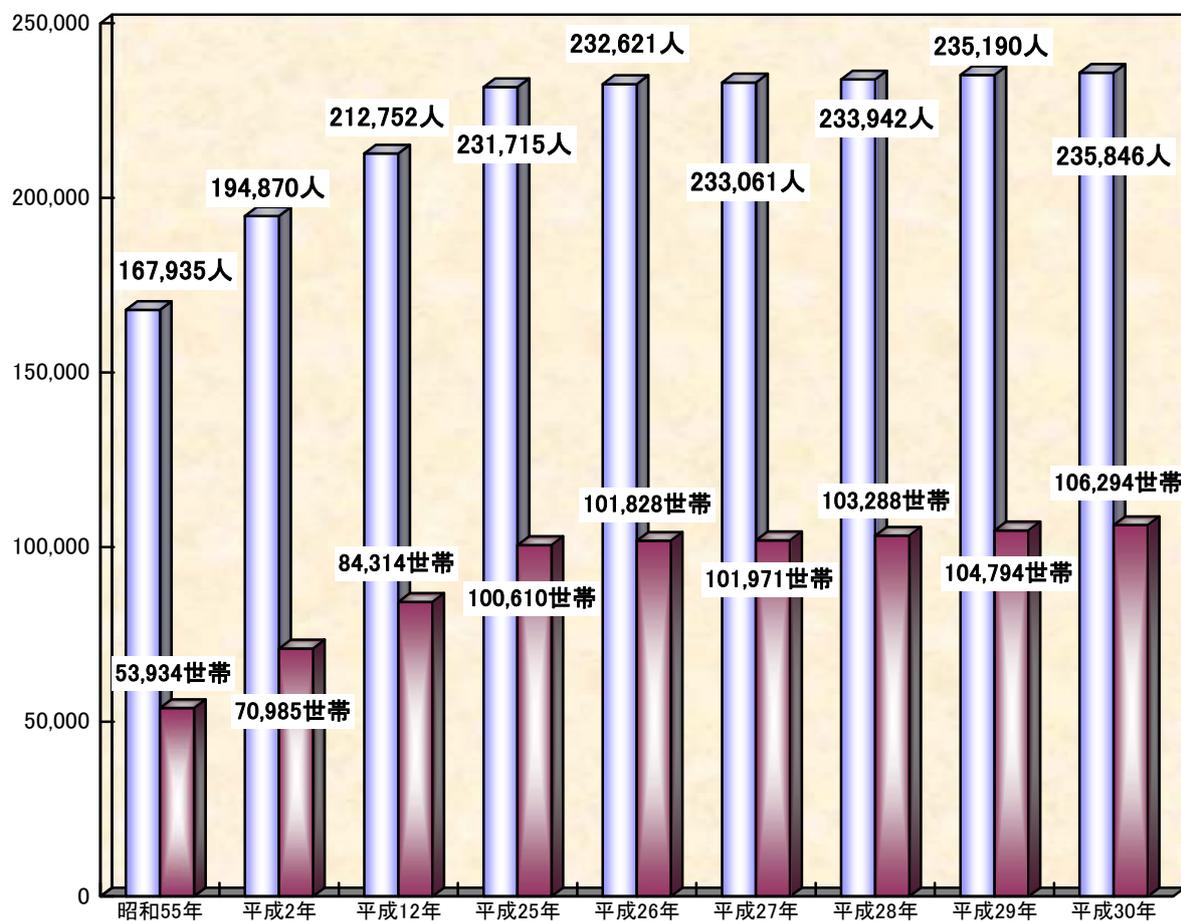
(3) 人口・世帯

令和元年 5月1日現在

○人口 236,753人 ○世帯 107,684世帯
○人口密度 8,739人/km²

□人口 □世帯

人口・世帯の推移(各年10月1日現在)



教育行財政



下福田中学校 防球ネット設置工事



深見小学校 トイレ改修工事

教育委員会

(1) 教育長・委員



教 育 長
柿 本 隆 夫



教育長職務代理者
青 蔭 文 雄



委 員
小 松 俊 子



委 員
森 園 廣 子



委 員
前 田 良 行

教 育 長 ・ 委 員 名 簿

令和元年5月1日現在

職 名	氏 名	発 令 年 月 日	満了年月日	備 考
教 育 長	柿 本 隆 夫	H27. 10. 01 (当初) (委員当初 H26. 10. 01)	R03. 09. 30	※新教育長 2 期目 (教育長 3 期目)
教育長 職務代理者	青 蔭 文 雄	H20. 12. 09 (当初)	R02. 12. 08	委員 3 期目
委 員	小 松 俊 子	H28. 12. 09	R02. 12. 08	委員 1 期目
委 員	森 園 廣 子	H29. 10. 01	R03. 09. 30	委員 1 期目
委 員	前 田 良 行	H30. 12. 21	R04. 12. 20	委員 1 期目

※教育長は、旧制度に基づく委員としての任期満了に伴い、平成 27 年 10 月 1 日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 76 号）に基づく新たな教育長として任命されました。

現教育長及び委員の任命は次のとおりです。

柿本隆夫 平成26年10月1日～平成27年9月30日
 平成27年10月1日～現在
 (旧制度による教育長 平成26年10月1日～平成27年9月30日
 新制度による教育長 平成27年10月1日～平成30年9月30日)
 平成30年10月1日～現在)

青蔭文雄 平成20年12月9日～平成24年12月8日
 平成24年12月9日～平成28年12月8日
 平成28年12月9日～現在
 (委員長 平成22年10月1日～平成24年9月30日
 平成26年1月1日～平成27年9月30日)

小松俊子 平成28年12月9日～現在

森園廣子 平成29年10月1日～現在

前田良行 平成30年12月21日～現在

(2) 会議

会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会・協議会を開催します。

○教育委員会会議等の開催状況

年度 会議の別	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
定例会	12	12	12	12	12
臨時会	8	3	0	1	1
協議会	24	19	13	12	16

年度 議決事項	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
条例・規則	16	20	19	11	29
陳情・請願等	2	1	0	1	0
人事	11	7	5	7	5
予算・決算	4	4	6	4	5
報告	4	6	4	3	5
その他	10	15	17	27	28
合計	42	53	51	57	72

※ 教育委員会定例会の議案及び会議録は、市のホームページでご覧いただけます。

(3) 教育委員会表彰

昭和 44 年に制定された教育委員会表彰規程に基づき、本市の教育文化の向上のために尽力された個人及び団体の功績を称えるため、毎年 2 月の最終日曜日に表彰式を行っています。

平成 30 年度に表彰を受けた教育功労者は、次のとおりです。

(順不同、敬称略)

教育委員会表彰教育功労者

【功労表彰 (35 名 1 団体)】

平成 31 年 2 月 24 日

氏 名	事 績
大川原 亨	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
大竹 博司	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
呉 錫仁	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
関水 圭三	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
高山 英彦	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
太田 美智子	本市立学校の学校薬剤師として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
井上 均	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
根岸 秀雄	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
橋本 正彦	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
福本 隆史	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
坂崎 英子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
根来 由美子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
藤田 里江子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました

藤村 智子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
入野 多加子	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
金丸 尚	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
田井 市子	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
南雲 富子	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
奈良 節子	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
浜崎 誠美	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
布瀬 恵	本市母親クラブ連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
奥山 淳子	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
中町 宏	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
関口 正美	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
保田 勝利	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
相馬 敬子	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
鳥海 あつ子	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
田平 友一郎	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
荻窪 庸	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
池本 大輔	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました

中村 幸男	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
小野 晃司	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
柏木 明	本市文化財保護指導委員として教育文化の振興発展に寄与されました
小林 正	本市文化財保護指導委員として教育文化の振興発展に寄与されました
高橋 輝久	本市学校教育振興団体等として学校教育の振興発展に寄与されました
草柳小学校区 おかえりなさい 運動の会	本市学校教育振興団体等として学校教育の振興発展に寄与されました

【功績表彰（5名1団体）】

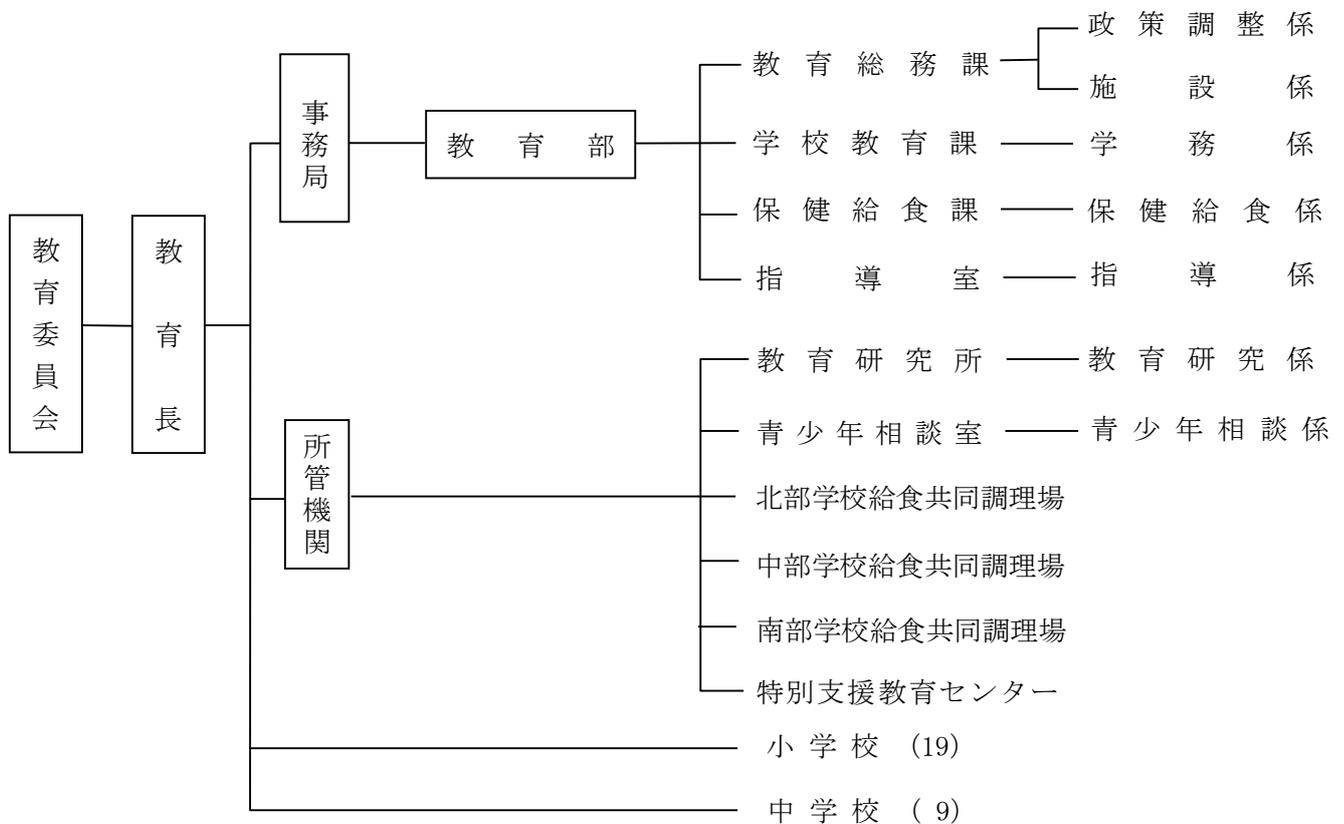
平成31年2月24日

氏名	事績
岩下 美霞	第6回全国小学生一輪車大会 ペア演技部門 クラスB 小学5・6年生の部（3位）
窪田 弘	第35回全日本シニアバドミントン選手権大会 80歳以上男子シングルス（準優勝）80歳以上男子ダブルス（準優勝）
佐藤 政一郎	第14回全日本障がい者空手道競技大会 身体障がい部門 肢体不自由 上肢障がい 男子 組手 第1部-1-4 40歳～65歳（準優勝） 男子 形 第1部-1-3, 4 21歳～（3位）
下田 琳温	第12回関東防具空手道選手権大会 形 個人部門 小学6年 男女混合（優勝）
早田 笑美里	第7回関東少年少女空手道選手権大会 4年生女子形の部（優勝）
大和市立つきみ 野中学校	第42回関東中学校水泳競技大会 男子4×100mフリーリレー（2位）

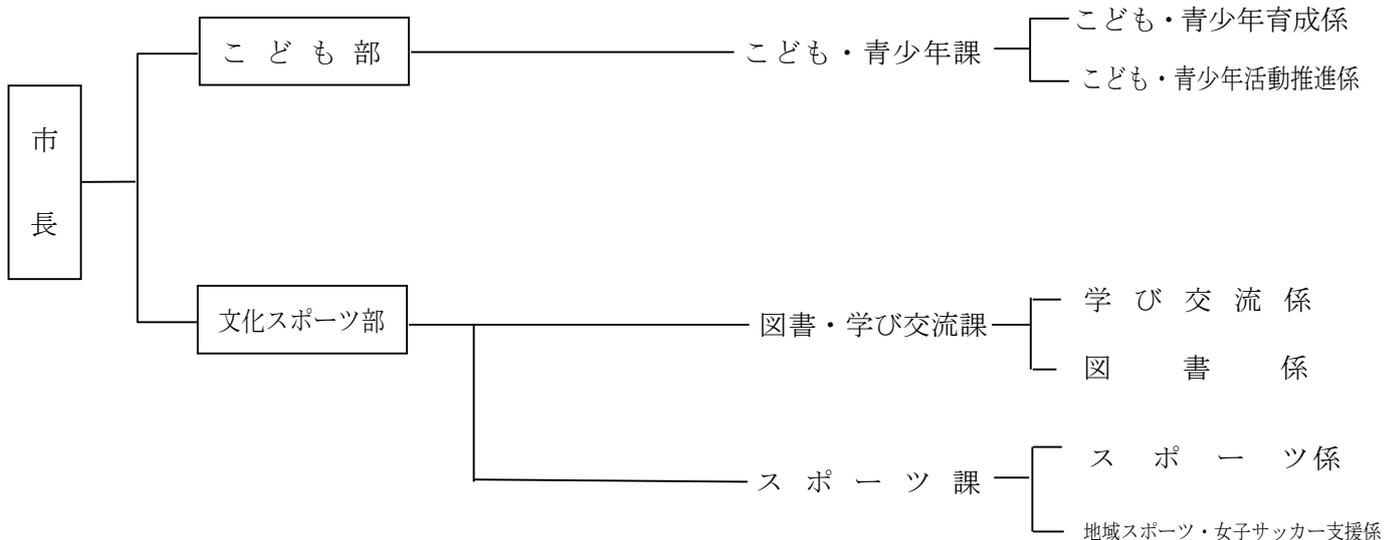
2. 事務局等

(1) 組織図

(平成31年4月1日現在)



(以下、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行する部局を参考として掲載)



教育部

教育総務課

- ① 教育委員会の会議に関する事。
- ② 教育委員会の秘書及び交際に関する事。
- ③ 教育委員会の儀式及び表彰に関する事。
- ④ 教育行政の総合的企画及び調整に関する事。
- ⑤ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事。
- ⑥ 事務局、学校及び所管機関の職員（県費負担教職員（以下「教職員」という。）を除く。）の人事及び給与に関する事。
- ⑦ 非常勤特別職職員の任免に関する事。
- ⑧ 公印の管理に関する事。
- ⑨ 法制に関する事。
- ⑩ 例規に関する事。
- ⑪ 行政文書の公開に関する事。
- ⑫ 個人情報保護に関する事。
- ⑬ 教育に関する統計調査（他課に属するものを除く。）及び広報に関する事。
- ⑭ 児童生徒の推計に関する事。
- ⑮ 教育部内の文書の発収及び保存に関する事。
- ⑯ 教育関係予算の総括に関する事。
- ⑰ 教育部内の庶務に関する事。
- ⑱ 教育部内の事務事業の調整及び会議に関する事。
- ⑲ 教育部内の施策の総合調整に関する事。
- ⑳ 教育行政に関する相談に関する事。
- ㉑ 学校施設の整備に係る調査及び企画に関する事。
- ㉒ 学校施設の整備及び維持管理に関する事。
- ㉓ 学校施設の営繕に関する事。
- ㉔ 学校施設の工事の監督（他に委託するものを除く。）に関する事。
- ㉕ 学校施設台帳の整備に関する事。
- ㉖ 学校管理物品の整備に関する事。
- ㉗ 学校施設の使用申請等に関する事。
- ㉘ 大和市土地開発公社との連絡に関する事。
- ㉙ 教育部の所掌に係る国及び県の補助金、委託金及び負担金の申請、調査、請求及び報告に関する事。
- ㉚ 教育部の所掌に係る徴収金の調定及び徴収に関する事。
- ㉛ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る契約を結ぶ事。
- ㉜ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る物品の売却その他の処分に関する事。
- ㉝ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る寄附金等の受入れに関する事。
- ㉞ 教育部の所掌に係る議案（予算を除く。）の作成及び議案につき、市議会において説明する事。
- ㉟ ㉙～㉛に掲げるもののほか、教育部の所掌に係る予算についての支出負担行為、支出命令その他予算執行に関する事。

学校教育課

- ① 教職員の任免、服務その他人事に関する事。
- ② 教職員の人事評価に関する事。
- ③ 教職員の福利厚生に関する事。
- ④ 学校の組織及び学級編制に関する事。
- ⑤ 学齢簿の編制、整備並びに保管に関する事。
- ⑥ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関する事。
- ⑦ 就学の猶予及び免除に関する事。
- ⑧ 通学区域の設定及び変更に関する事。
- ⑨ 就学援助に関する事。
- ⑩ 奨学金に関する事。
- ⑪ 生徒運賃割引証に関する事。
- ⑫ 学校基本調査及び進路状況調査に関する事。

保健給食課

- ① 学校保健に係る調査及び企画に関する事。
- ② 児童生徒及び教職員等の保健衛生に関する事。
- ③ 就学時健康診断に関する事。
- ④ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ⑤ 医療費援助及び眼鏡購入費補助に関する事。
- ⑥ 学校給食施設の整備計画に関する事。
- ⑦ 学校給食の管理指導に関する事。
- ⑧ 給食用物資の購入計画に関する事。
- ⑨ 学校給食共同調理場の運営管理に関する事。
- ⑩ 栄養指導センターに関する事。
- ⑪ 学校給食共同調理場運営協議会に関する事。

指導室

- ① 教科、道徳、特別活動等の指導助言に関する事。
- ② 教科用図書その他の教材等の取扱い、研究及び指導に関する事。
- ③ 教科用図書の採択に関する事。
- ④ 教職員の研修に関する事。
- ⑤ 児童生徒の事故に関する事。
- ⑥ 特別支援学級入級に関する事。
- ⑦ 学校行事予定に関する事。
- ⑧ 校外行事及び振替授業に関する事。
- ⑨ 学校教育振興に係る調査研究に関する事。
- ⑩ 教材教具及び学校図書館図書整備に関する事。
- ⑪ 教育相談指導に関する事。
- ⑫ 児童・生徒指導に関する事。
- ⑬ 教育研究所との連絡調整に関する事。

所管機関

教育研究所

- ① 研究所の管理運営に関すること。
- ② 教育の研究調査に関すること。
- ③ 教育図書及び教育資料に関すること。
- ④ 研究調査成果の発表及び出版に関すること。
- ⑤ 教育関係職員等の研修に関すること。
- ⑥ 教育活動の支援に関すること。
- ⑦ 教育史料の収集と刊行に関すること。
- ⑧ 情報教育の推進に関すること。
- ⑨ 理科学習及び総合的な学習の推進に関すること。
- ⑩ その他教育研究所の庶務に関すること。

青少年相談室

- ① 青少年相談に関すること。
- ② 教育相談に関すること。
- ③ 教育支援教室に関すること。
- ④ 街頭補導及び継続補導に関すること。
- ⑤ 社会環境浄化活動に関すること。
- ⑥ 相談及び補導に関する統計並びに諸報告に関すること。
- ⑦ 相談室の管理運営に関すること。
- ⑧ その他相談室内の庶務に関すること。

学校給食共同調理場

- ① 給食の調理及び配送に関すること。
- ② 給食用物質の発注及び検収に関すること。
- ③ 食器、食かん等の洗浄、消毒及び保管に関すること。
- ④ 献立の作成、調理指導及び栄養の調査研究に関すること。
- ⑤ 衛生管理に関すること。
- ⑥ 学校給食共同調理場内（栄養指導センターを含む。）の維持管理に関すること。
- ⑦ その他学校給食共同調理場内の庶務に関すること。

特別支援教育センター

- ① 通級指導教室に関すること。
- ② 教育支援教室に関すること。
- ③ 教育相談及び教育指導に関すること。
- ④ 教職員の研修に関すること。
- ⑤ 特別支援教育センター内の維持管理に関すること。
- ⑥ その他特別支援教育センター内の庶務に関すること。

(以下は、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行させるもの)

こども部

こども・青少年課

- ① 青少年教育に係る調査及び企画に関すること。
- ② 青少年教育施設の整備計画に関すること。
- ③ 青少年関係団体の指導及び育成に関すること。
- ④ 青少年指導者の育成に関すること。
- ⑤ 青少年を対象とする集会、講座、研修等の開催、指導助言及び育成に関すること。
- ⑥ 青少年センターの管理運営に関すること。

文化スポーツ部

図書・学び交流課

- ① 社会教育の総合的な企画調整に関すること。
- ② 社会教育に係る調査及び企画に関すること。
- ③ 社会教育施設の整備計画に関すること。
- ④ 社会教育指導者の育成に関すること。
- ⑤ 社会教育に係る講座、討論会、講習会、講演会、展示会その他の集会に関すること。
- ⑥ 社会教育に対する支援に関すること。
- ⑦ 社会同和教育に係る啓発に関すること。
- ⑧ ユネスコ活動に関すること。
- ⑨ 社会教育委員に関すること。
- ⑩ 学習機会提供の総合管理に関すること。
- ⑪ 生涯学習センターに関すること。
- ⑫ 学校施設の使用による生涯学習の振興に関すること。
- ⑬ 生涯学習センター関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑭ 地域を対象とする講座、展示会その他各種集会に関すること。
- ⑮ 読書活動の総合的な企画調整に関すること。
- ⑯ 図書館に関すること。
- ⑰ 図書館資料等の選択に関すること。

スポーツ課

- ① 学校体育施設のスポーツ開放に関すること。

(3) 所属別・職名別職員一覧表

平成 31 年 4 月 1 日現在

職名別 所属別	実数の内訳								左のうち管理職						
	事務職員	指導主事	技術職員	技能職員	用務員	調理員	再任用職員	合計実人数	部長	課長	室長	所長	場長	主幹	主任指導主事
教育部	28	10	5	4			2	49	1	3	1				1
教育総務課	12		3	4				19		1					
学校教育課	4	2						6		1					
保健給食課	7		2					9		1					
指導室	4	8					2	14			1				1
所管機関	9	9	4					22			1	1	3		3
教育研究所	3	4						7				1			1
青少年相談室	2	2						4			1				1
北部学校給食共同調理場	1		2					3					1		
中部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
南部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
特別支援教育センター	1	3						4							1
小学校					6	7	9	22							
中学校					2		8	10							
合計	37	19	9	4	8	7	19	103	1	3	2	1	3		4

3. 大和市の教育振興基本計画

教育委員会では、令和元年度～5年度を計画期間とした、「大和市学校教育基本計画」と「大和市生涯学習推進計画」を策定しました。

これら2つの計画は、「健康創造都市やまと総合計画」の個別計画として位置づけ、他の計画と整合を図りながら、施策を推進します。

また、併せて教育基本法で規定された地方公共団体が策定すべき「教育振興基本計画」の両輪としても位置づけています。

(1) 大和市学校教育基本計画



4. 平成 31 年度 教育に係る当初予算

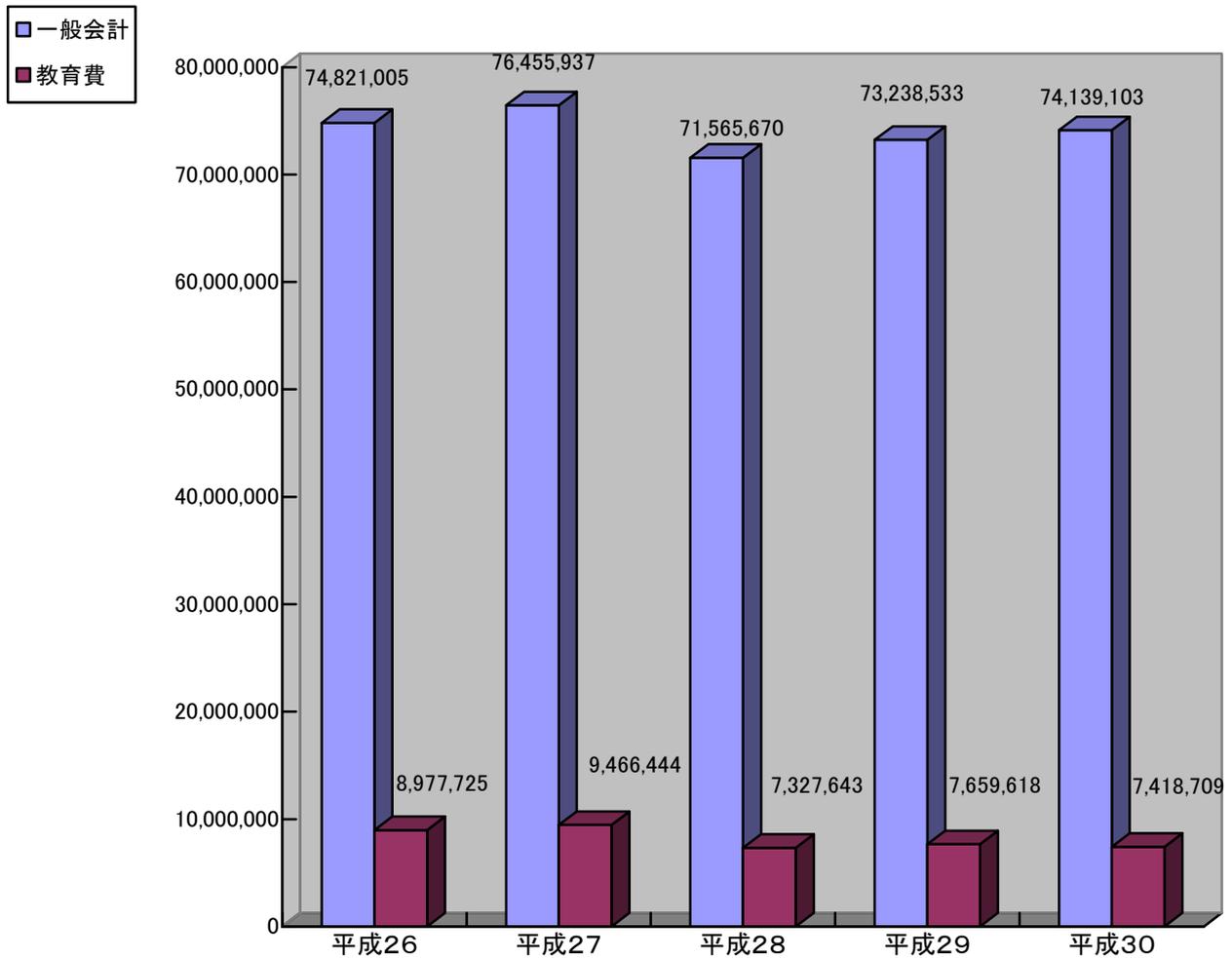
(単位：千円)

	平成 31 年度	平成 30 年度	比 較
一 般 会 計	77,440,000	77,100,000	340,000
10 教 育 費	8,861,124	7,184,462	1,676,662
1 教 育 総 務 費	1,532,159	1,501,170	30,989
2 小 学 校 費	3,529,920	1,720,539	1,809,381
3 中 学 校 費	683,400	1,010,240	△326,840
4 社 会 教 育 費	1,472,471	1,432,869	39,602
1 社 会 教 育 総 務 費	235,498	301,894	△66,396
2 青 少 年 育 成 費	207,514	91,089	116,425
3 公 民 館 費	415,443	467,568	△52,125
4 図 書 館 費	565,733	533,694	32,039
5 文 化 財 保 護 費	48,283	38,624	9,659
5 保 健 体 育 費	1,484,704	1,519,644	△34,940
1 保 健 体 育 総 務 費	391,360	382,881	8,479
3 学 校 給 食 管 理 費	1,093,344	1,136,763	△43,419

5. 教育費

(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移

グラフ中の数字は実額（単位千円）
（平成30年度分は見込額）



(%)

教育費の一般会計に占める割合	
平成26年度	12.0
27	12.4
28	10.2
29	10.5
30	10.0

(%)

対前年比		
年度	一般会計	教育費
平成26	16.2	36.4
27	2.2	5.4
28	△6.4	△22.6
29	2.3	4.5
30	1.2	△3.1

(2) 教育費目的別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位千円)

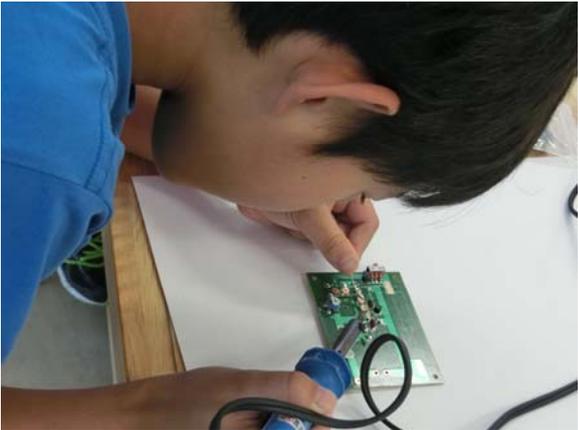
年度 目的	26	27	28	29	30 (見込額)
教育総務費	992,472 (11.0)	1,168,225 (12.3)	1,256,023 (17.1)	1,369,435 (17.9)	1,482,973 (20.0)
小学校費	1,378,671 (15.4)	1,899,087 (20.1)	1,433,552 (19.6)	2,251,543 (29.4)	1,859,547 (25.1)
中学校費	1,766,591 (19.7)	737,533 (7.8)	739,256 (10.1)	1,072,394 (14.0)	1,117,163 (15.0)
社会教育費	3,271,184 (36.4)	3,936,402 (41.6)	2,024,696 (27.6)	1,507,787 (19.7)	1,396,722 (18.8)
保健体育費	1,568,807 (17.5)	1,725,197 (18.2)	1,874,117 (25.6)	1,458,459 (19.0)	1,562,304 (21.1)
合計	8,977,725 (100.0)	9,466,444 (100.0)	7,327,644 (100.0)	7,659,618 (100.0)	7,418,709 (100.0)

(3) 教育費性質別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位千円)

年度 性質	26	27	28	29	30 (見込額)
人件費	1,320,306 (14.7)	1,366,869 (14.4)	1,305,056 (17.8)	1,296,794 (16.9)	1,272,599 (17.2)
物件費	2,625,061 (29.2)	2,765,708 (29.2)	3,195,991 (43.6)	3,367,907 (44.0)	3,676,640 (49.6)
補助費等	86,287 (1.0)	93,432 (1.0)	94,273 (1.3)	93,780 (1.2)	99,727 (1.3)
維持補修費	205,355 (2.3)	169,655 (1.8)	212,721 (2.9)	190,151 (2.5)	179,505 (2.4)
扶助費	400,057 (4.5)	372,338 (4.0)	368,049 (5.0)	389,301 (5.1)	360,982 (4.9)
普通建設 事業費	4,340,659 (48.3)	4,698,342 (49.6)	2,151,553 (29.4)	2,321,671 (30.3)	1,828,904 (24.6)
補助事業	3,388,758 (37.7)	2,097,467 (22.1)	1,412,795 (19.3)	1,533,623 (20.0)	939,675 (12.6)
単独事業	951,901 (10.6)	2,600,875 (27.5)	738,758 (10.1)	788,048 (10.3)	889,229 (12.0)
その他	0 (0.0)	100 (0.0)	0 (0.0)	14 (0.0)	352 (0.0)
合計	8,977,725 (100.0)	9,466,444 (100.0)	7,327,643 (100.0)	7,659,618 (100.0)	7,418,709 (100.0)

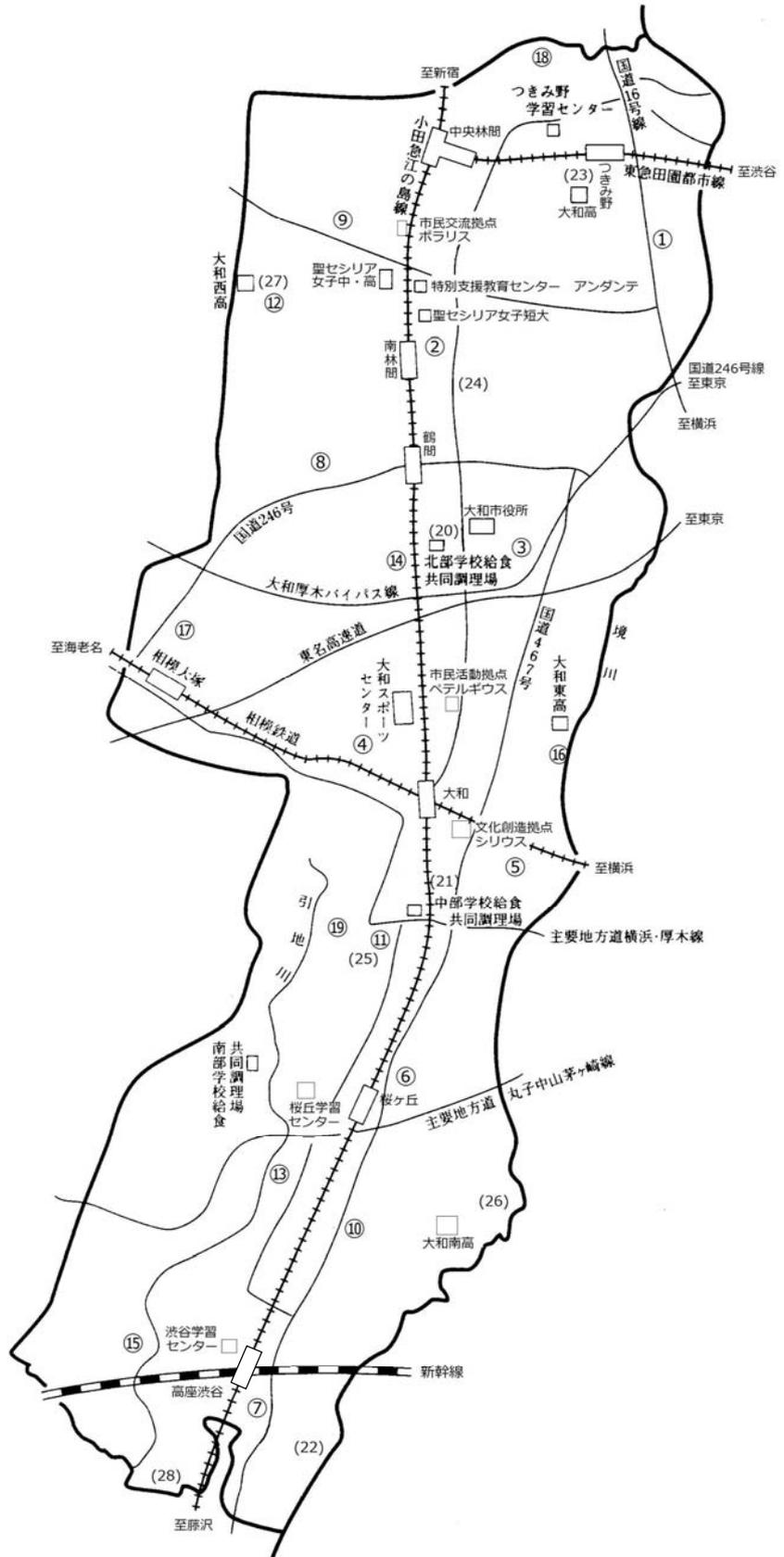
学校教育



学校教育施設位置図

- ① 北大和小学校
- ② 林間小学校
- ③ 大和小学校
- ④ 草柳小学校
- ⑤ 深見小学校
- ⑥ 桜丘小学校
- ⑦ 渋谷小学校
- ⑧ 西鶴間小学校
- ⑨ 緑野小学校
- ⑩ 上和田小学校
- ⑪ 柳橋小学校
- ⑫ 南林間小学校
- ⑬ 福田小学校
- ⑭ 大野原小学校
- ⑮ 下福田小学校
- ⑯ 大和東小学校
- ⑰ 文ヶ岡小学校
- ⑱ 中央林間小学校
- ⑲ 引地台小学校

- (20) 大和中学校
- (21) 光丘中学校
- (22) 渋谷中学校
- (23) つきみ野中学校
- (24) 鶴間中学校
- (25) 引地台中学校
- (26) 上和田中学校
- (27) 南林間中学校
- (28) 下福田中学校



1. 市立学校一覽

(令和元年5月1日現在)

小 中 別	学校名	創立年月日	校長名	職員数 (定数)		児童生徒数		学級数	開校記念日
				県費 職員	市費 職員	計	児 童 生 徒 数		
小 学 校	渋谷小	明治32.4.21	大塚潤子	44	1	45	626	23	明治32.4.21
	大和小	〃 36.6.25	吉原多美子	57	1	58	1,006	38	〃 36.6.25
	北大和小	昭和23.12.15	藤倉秀明	55	1	56	1,131	39	昭和23.12.15
	林間小	〃 24.4.15	土佐野睦	59	1	60	954	34	〃 24.4.15
	草柳小	〃 32.4.1	桐ヶ谷淳子	34	5	39	435	18	〃 32.4.25
	桜丘小	〃 32.4.1	阿南由美	27	1	28	443	17	〃 32.5.25
	深見小	〃 32.7.15	二見明子	30	5	35	506	20	〃 32.7.15
	西鶴間小	〃 42.4.1	四ノ宮和仁	37	1	38	669	25	〃 42.4.13
	緑野小	〃 46.4.1	稲葉敦子	41	1	42	793	28	〃 46.5.29
	上和田小	〃 47.4.1	門脇由利子	23	1	24	288	14	〃 47.4.26
	柳橋小	〃 48.4.1	久津間仁	41	1	42	542	25	〃 48.5.15
	南林間小	〃 49.4.1	竹中崇	35	1	36	605	23	〃 49.7.2
	福田小	〃 50.4.1	池田操	33	1	34	607	22	〃 50.5.28
	大野原小	〃 51.4.1	深谷美紀	37	1	38	696	24	〃 51.5.24
	下福田小	〃 53.4.1	杉山由美	29	1	30	494	19	〃 53.6.5
	大和東小	〃 54.4.1	高島裕樹	28	1	29	499	19	〃 54.6.28
	文ヶ岡小	〃 55.4.1	秦安彦	29	1	30	488	19	〃 55.6.5
	中央林間小	〃 57.4.1	沼尻港	33	1	34	659	23	〃 57.6.21
引地台小	〃 59.4.1	横井俊郎	24	1	25	358	16	〃 59.6.20	
中 学 校	大和中	昭和22.5.5	藤井明	56	1	57	833	27	昭和22.5.5
	渋谷中	〃 22.5.5	神田義和	32	1	33	311	14	〃 22.5.5
	光丘中	〃 35.4.1	大谷一記	58	1	59	851	28	〃 35.6.1
	つきみ野中	〃 46.4.1	小澤裕之	49	1	50	896	26	〃 46.5.22
	鶴間中	〃 50.4.1	西舘真弓	29	1	30	416	15	〃 50.6.3
	引地台中	〃 51.4.1	島貫稔	42	1	43	634	21	〃 51.6.1
	上和田中	〃 55.4.1	犬塚克徳	28	1	29	338	12	〃 55.6.2
	南林間中	〃 56.4.1	戸祭章子	46	1	47	759	23	〃 56.6.10
下福田中	〃 58.4.1	大塚浩治	25	1	26	300	11	〃 58.6.18	

2. 学校施設の状況

(令和元年5月1日現在・単位：㎡)

区分 学校名	校地面積	運動場	建物敷地	校舎面積	内 訳				武道場	体育館	プ ール
					鉄筋コン クリート 造	鉄 骨 造	木 造	そ の 他 造			
北大和小	16,429	9,093	7,336	5,332	5,269	43	20	0	0	666	
林間小	17,114	8,949	8,165	6,607	6,506	101	0	0	0	945	鋼板造 (25m×13m)
大和小	22,506	11,455	11,051	6,388	6,112	276	0	0	0	1,360	FRP (25m×13m)
草柳小	17,603	9,155	8,448	5,154	5,105	49	0	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
深見小	15,086	7,159	7,927	4,819	4,710	109	0	0	0	913	鋼板造 (25m×13m)
桜丘小	15,192	5,526	9,666	4,952	4,842	90	20	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
渋谷小	14,764	6,984	7,780	6,327	6,048	279	0	0	0	968	FRP (25m×13m)
西鶴間小	17,389	9,549	7,840	4,646	4,545	101	0	0	0	690	コンクリート造 (25m×13m)
緑野小	14,033	4,023	10,010	5,923	5,842	81	0	0	0	813	FRP (25m×13m)
上和田小	14,687	8,740	5,827	5,052	4,977	75	0	0	0	666	鋼板造 (25m×13m)
柳橋小	12,781	7,523	5,258	6,699	6,608	91	0	0	0	686	鋼板造 (25m×13m)
南林間小	14,503	6,609	7,894	5,339	5,265	74	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
福田小	13,554	8,002	5,552	5,703	5,626	77	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
大野原小	13,161	7,125	5,916	5,494	5,403	91	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
下福田小	14,381	7,136	7,040	5,320	5,200	120	0	0	0	729	アルミ造 (25m×13m)
大和東小	12,598	5,563	5,970	4,495	4,416	79	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
文ヶ岡小	12,090	6,578	5,505	4,220	4,133	87	0	0	0	727	アルミ造 (25m×13m)
中央林間小	13,514	5,908	7,606	5,317	5,239	78	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
引地台小	13,658	7,662	5,996	4,295	4,141	154	0	0	0	729	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	285,043	142,739	140,787	102,082	99,987	2,055	40	0	0	15,146	
大和中	30,460	18,661	11,799	6,657	6,487	170	0	0	0	970	
光丘中	27,236	14,496	12,740	11,803	11,775	28	0	0	1,071	1,569	ステンレス造 (25m×13m)
渋谷中	15,717	7,726	7,991	10,011	10,011	0	0	0	1,032	1,110	FRP (25m×13m)
つきみ野中	20,496	10,097	10,399	7,505	7,177	328	0	0	809	1,314	ステンレス造 (25m×13m)
鶴間中	20,074	10,184	8,777	5,648	5,560	88	0	0	0	925	
引地台中	20,658	8,713	11,494	6,978	6,889	89	0	0	0	925	
上和田中	16,183	8,280	7,903	5,711	5,651	60	0	0	0	932	
南林間中	16,381	9,171	7,210	6,469	6,410	59	0	0	0	937	
下福田中	23,610	7,975	12,831	7,346	7,308	38	0	0	796	924	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	190,815	95,303	91,144	68,128	67,268	860	0	0	3,708	9,606	
合 計	475,858	238,042	231,931	170,210	167,255	2,915	40	0	3,708	24,752	

3. 保有教室の内訳

(令和元年5月1日現在)

学校名	区分	保有教室の内訳																				
		普通教室	理科室	生活室	音楽室	図画工作室	家庭科室	視聴覚室	P C室	図書室	特別活動室	相談室	プレイルーム	ランチルーム	ことばの教室	総合・小人数等学習	多目的室	会議室	児童会室等	国際室	オープンルーム	教材室
北大和小		39	2	0	1	1	1	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1
林間小		34	1	0	1	1	1	0	1	2	2	1	0	0	2	0	0	2	0	1	0	4
大和小		39	1	0	2	2	1	0	1	3	1	2	1	0	0	1	0	1	1	1	0	2
草柳小		18	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	0	0	0	0
深見小		20	1	0	1	1	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2
桜丘小		17	1	1	1	1	1	1	1	2	3	0	1	0	4	2	2	0	1	0	0	2
渋谷小		23	1	0	1	1	1	1	1	0	2	0	0	2	2	2	1	1	2	0	0	1
西鶴間小		25	1	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
緑野小		28	1	0	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	1
上和田小		14	1	0	1	1	1	2	1	2	2	1	0	1	0	2	1	1	0	1	0	0
柳橋小		25	2	0	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
南林間小		23	1	0	1	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
福田小		22	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	4	4	2	0	1	0	0	3
大野原小		25	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0
下福田小		19	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	3
大和東小		19	1	0	1	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
文ヶ岡小		19	1	0	1	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
中央林間小		23	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	6
引地台小		16	1	0	1	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
計		448	21	1	20	21	19	11	19	25	19	27	7	3	5	22	20	18	6	16	0	37
学校名	区分	保有教室の内訳																				
		普通教室	理科室	音楽室	美術室	技術室	家庭科室	視聴覚室	P C室	図書室	特別活動室	教育相談室	P C研究室	会議室	多目的室	学習室	国際室	生徒会室	プレイルーム	少人数学習室	研究室	教材室
大和中		26	2	2	2	2	2	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	0	2	0	0	1
光丘中		28	2	2	2	2	2	1	1	1	0	4	0	5	0	2	1	1	0	0	0	5
渋谷中		14	2	1	1	2	2	1	1	1	0	1	0	2	3	0	1	0	0	3	0	4
つきみ野中		26	2	2	2	2	2	1	1	1	0	2	0	0	4	0	0	1	0	0	0	1
鶴間中		15	2	1	1	2	2	0	1	1	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
引地台中		21	2	2	2	2	2	1	1	1	0	2	0	1	0	2	1	1	0	0	0	1
上和田中		12	2	2	1	2	2	0	1	2	0	2	0	3	4	1	1	2	1	0	0	4
南林間中		23	2	1	1	1	2	1	1	1	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
下福田中		11	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	0	2	5	0	0	1	0	0	1	5
計		176	18	14	13	17	18	7	9	10	1	18	1	16	18	8	7	9	1	5	1	25

4. 学校施設の整備状況

(1) 校舎等の防音工事

大和市は、米海軍厚木基地に隣接しているため、航空機の騒音により学校の授業が中断されるなど教育面に大きな影響を受けています。そこで、これらの被害を軽減するため国の騒音防止対策事業によって、全校舎防音工事が施されています。

- 平成 26 年度 つきみ野中学校復旧防音及び大規模改修工事 (2/2 工事) を実施する。
桜丘小学校復旧防音及び大規模改修工事 (1/2 工事) を実施する。
- 平成 27 年度 桜丘小学校復旧防音及び大規模改修工事 (2/2 工事) を実施する。
渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事 (実施設計) を実施する。
文ヶ岡小学校併行防音工事 (実施設計)、併行防音工事を実施する。
南林間中学校復旧温度保持除湿工事 (実施設計) を実施する。
- 平成 28 年度 渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事 (1/2 工事) を実施する。
南林間中学校復旧温度保持除湿工事 (1/2 工事) を実施する。
下福田中学校復旧温度保持除湿工事 (実施設計) を実施する。
- 平成 29 年度 北大和小学校併行防音 (実施設計) を実施する。
渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事 (2/2 工事) を実施する。
南林間中学校復旧温度保持除湿工事 (2/2 工事) を実施する。
下福田中学校復旧温度保持除湿工事 (1/2 工事) を実施する。
大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事 (実施設計) を実施する。
- 平成 30 年度 北大和小学校併行防音 (1/2 工事) を実施する。
下福田中学校復旧温度保持除湿工事 (2/2 工事) を実施する。
大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事 (1/2 工事) を実施する。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			国庫補助金	市債他	一般財源
26	つきみ野中学校復旧防音及び大規模改修工事 (2/2 工事)	303,965	275,006	27,000	1,959
	桜丘小学校復旧防音及び大規模改修工事 (1/2 工事)	136,805	24,325	84,360	28,120
27	桜丘小学校復旧防音及び大規模改修工事 (2/2 工事)	534,229	90,579	409,100	34,550
	渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事 (実施設計)	15,012	4,591	0	10,421
	文ヶ岡小学校併行防音工事 (実施設計)	864	864	0	0
	文ヶ岡小学校併行防音工事 (工事)	29,560	29,231	0	329
	南林間中学校復旧温度保持除湿工事 (実施設計)	5,400	3,948	0	1,452
28	渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事 (1/2 工事)	171,252	46,534	114,200	10,518
	南林間中学校復旧温度保持除湿工事 (1/2 工事)	54,116	47,442	6,500	174
	下福田中学校復旧温度保持除湿工事 (実施設計)	5,940	3,674	2,100	166

29	北大和小学校併行防音工事（実施設計）	2,034	2,034	0	0
	渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事（2/2 工事）	626,284	66,746	360,700	198,838
	南林間中学校復旧温度保持除湿工事（2/2 工事）	220,189	181,600	28,400	10,189
	下福田中学校復旧温度保持除湿工事（1/2 工事）	64,034	45,200	13,300	5,534
	大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事（実施設計）	10,805	4,351	0	6,454
30	北大和小学校併行防音（1/2 工事）	27,807	27,807	0	0
	下福田中学校復旧温度保持除湿工事（2/2 工事）	242,089	181,568	59,900	621
	大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事（1/2 工事）	71,830	64,647	7,100	83

（補助金の根拠法令）防衛省：防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律

（2）耐震補強工事

校舎等の耐震性能の向上を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

① 校舎の耐震補強工事

平成7年度から平成14年度までに完了しました。

② 体育館の耐震補強工事

カマボコ型屋根を除き、平成11年度から平成18年度までに完了しました。

カマボコ型屋根体育館は、平成22年度までに建替え工事が完了しました。

※平成22年度を以って、市立小中学校全ての校舎及び体育館の耐震化率が100%となりました。

（3）非構造部材の耐震化工事

体育館・武道場などの屋内運動場等について非構造部材の耐震化を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

屋内運動場等の非構造部材の耐震化は、平成28年度までに完了しました。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			国庫補助金	市債他	一般財源
26	渋谷中学校及び大和中学校非構造部材耐震改修工事（実施設計）	3,132	0	2,349	783
27	渋谷中学校及び大和中学校非構造部材耐震改修工事（工事）	41,914	15,165	25,077	1,672
	光丘中学校、つきみ野中学校及び下福田中学校非構造部材耐震改修工事（実施設計）	3,985	0	2,988	997
	光丘中学校、つきみ野中学校及び下福田中学校非構造部材耐震改修工事（工事）	58,056	20,558	35,154	2,344
28	渋谷中学校（ホワイエ）非構造部材耐震改修工事（実施設計）	1,026	242	600	184
	渋谷中学校（ホワイエ）非構造部材耐震改修工事（工事）	11,610	2,741	6,800	2,069

(補助金の根拠法令) 文部科学省：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(4) 校舎等の増築工事

児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保する。

平成 26 年度 文ヶ岡小学校増築工事（実施設計）を実施する。

平成 27 年度 文ヶ岡小学校増築工事（工事）を実施する。

平成 29 年度 北大和小学校増築工事（実施設計）を実施する。

平成 30 年度 北大和小学校増築工事（1/2 工事）を実施する。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			国庫補助金	市債他	一般財源
26	文ヶ岡小学校増築工事（実施設計）	11,556	0	0	11,556
27	文ヶ岡小学校増築工事（工事）	227,725	80,192	141,500	6,033
29	北大和小学校増築工事（実施設計）	25,830	0	0	25,830
30	北大和小学校増築工事（1/2 工事）	189,193	0	177,300	11,893

(補助金の根拠法令) 文部科学省：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

5. 教育指導

指導室の重点目標 「生きる力」をはぐくむ教育の創造
～子ども一人ひとりの成長を支え可能性を伸ばす～

「知識基盤社会」の時代では、子どもたちが主体的に社会の変化に対応する能力を身に付けるため、基礎的・基本的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力等をバランスよくはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことが必要です。そこで、すべての教育活動において、確かな学力を身に付け、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、健やかに生きる児童生徒の育成に努めていきます。

(1) 学校訪問

教育課程、学習指導、児童生徒指導、その他学校教育に関する専門的事項について指導助言を行うとともに、学校教育全般にわたる諸問題を把握し、本市教育の充実に努めます。

1. 計画訪問

- (1) 実施期間 5月～7月
- (2) 実施回数 小・中学校とも全体会1回
- (3) 内 容

全体会	◎指導室より、重点施策について説明する。 ◎校長・教頭・総括教諭等とともに、協議を行う。 ①学校経営方針 ②教育課程 ③指導室で設定するテーマ
-----	---

2. 要請訪問

- (1) 実施期間 6月～2月まで
- (2) 実施回数 原則、研究指定校は通年で3回まで。それ以外の学校は1回実施。
- (3) 内 容

授業研究	◎授業実践に関する指導助言を行う。（指導案作成、授業実践前後の指導助言など） ◎校内研究に関する指導助言を行う。（推進委員会や校内研修会の指導助言など） ◎研究発表に関する指導助言を行う。（発表前、発表当日の指導助言など） ◎教育課程に関する指導助言を行う。（教科指導、評価のあり方、人権教育など） ◎授業実践・校内研究・研究発表・教育課程に関する指導助言を行う。
------	--

3. 訪問研修

- (1) 実施期間 5月～2月
- (2) 実施回数 3回（予定）
- (3) 内 容 「学力向上」「児童生徒指導」等について、校内研修を実施する。

4. 初任者訪問指導

- (1) 実施期間 9月～2月
- (2) 実施回数 原則として従来方式の学校のみ初任者1名に対して1回実施。
県央教育事務所指導訪問を兼ねる。（本市指導主事と2名で訪問指導を行う）
- (3) 内 容 教科の授業実践に関する指導助言を行う。

(3) 研究

各学校の自主的研究の高揚を図り、教育の質的向上を実現するために、研究委託校を設置し、研究の成果を研究集録にまとめ、本市の学校教育に反映させています。

① 委託研究

学校名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
北大和小	自ら学び自ら考える児童の育成～国語科における思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価の研究を通して～	自ら学び自ら考える児童の育成～話す・聞くことを通して～	互いに聴き合い学び合う児童の育成	互いに聴き合い学び合う児童の育成を目指して	互いに聴き合い学び合う児童の育成
林間小	自分の考えを持ち、伝え合い、豊かに表現する子の育成～読書・言語活動(国語科)の充実を目指して～	「自分の考えを持ち、伝え合い、豊かに表現する子の育成」～言語活動(国語科)の充実をめざして～	特色ある学校を創造するカリキュラムマネジメント～なぜどうして?と進んで考える子どもの育成を目指したカリキュラムマネジメント～	思考力を伸ばす授業～なぜどうして?と進んで考える子どもの育成を目指したカリキュラムマネジメント～	考える力を伸ばすカリキュラムマネジメント
大和小	子どもの学習意欲を育む授業づくりの研究～より良い授業を目指していくことの日常化～	子どもの学習意欲を育む授業づくりの研究～協働的な集団学習を目指して～	子どもの学習意欲を育む授業づくりの研究～思考の深まりを実感できる協働的な学習活動～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～協働的な活動を取り入れた問題解決を通して～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～よりよい関わりの中で、「見方・考え方」を働かせる授業づくり～
草柳小	「共に学び、共に生きる」～わかる・できる体育(跳び箱運動)と子どもの見方・働きかけ方～	「共に学び、共に生きる」～マット運動の基準を習得するための系統性と支持力の育成を意識した授業づくり～	「共に学び、共に生きる」～マット運動の基準を習得するための系統性と「児童同士の学び合い」ならびに「効果的な技のポイントの示し方」について～	「共に学び、共に生きる」～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～
深見小	自ら考え判断し、主体的に学ぶことのできる児童の育成～思考力・判断力を高める授業の工夫～	主体的に考えることのできる児童の育成を目指して～もっと知りたい、考えたい、活用したいと児童が感じる授業づくり～	主体的に考えることのできる児童の育成を目指して	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成をめざして	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成を目指して
桜丘小	学びあい育ちあい共に生きる子をめざして～情報モラル教育を通して～	「学びあい 育ちあい共に生きる子をめざして」	「学び合い 育ち合い共に生きる子をめざして」	「学び合い 育ち合い共に生きる子をめざして」	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして
渋谷小	すべての児童に学びを保障する授業づくり～情報機器の効果的な活用を通して～	「すべての児童の学びを保障する授業づくり～情報機器の効果的な活用～」	関わり合い・学び合い	関わり合い・学び合い	関わり合い・学び合い
西鶴間小	よりよい授業づくりをめざして～算数科における思考・判断・表現力の育成～	「学びの基礎となる言語力の育成」～書く意欲、書く力を高める指導のあり方～	「学びの基礎となる言語力の育成」～書く意欲、書く力を高める指導のあり方～	「学びの基礎となる言語力の育成」～基礎・基本の定着につながる指導方法について～	基礎・基本が定着するための指導方法について～反復学習の徹底～
緑野小	思いやりを持ち、よりよく生きようとする児童の育成～ゆたかなかわり合いを通して～	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」～算数科を通して思考力、判断力、表現力の育成～	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」～算数科を通して思考力、判断力、表現力の育成～	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」～地域に根ざした緑野カリキュラムの創造～	自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして～地域に根ざした緑野カリキュラムの創造～
上和田小	自分の言葉で表現できる子どもの育成を目指して	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～子どもたちの意欲を高める国語科『読むこと』の授業づくり～	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～子どもたちの意欲を高める国語科『読むこと』の授業づくり～	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～「特別の教科道徳」の指導と評価について～
柳橋小	子どもたち一人ひとりが互いを認め合い、共に生きる力を身につけるために～伝え合う力を育てる(国語科)の授業を通して～	「わかる授業づくり」～指導と評価の一体化から授業改善を目指して～	確かな学びをめざして～かわり合いの中から学ぶ授業づくり～	確かな学びをめざして～かわり合いの中から学ぶ～	かわり合いの中から学ぶ～友だちと伝え合い、考えを深める授業づくり～
南林間小	豊かな学びをめざして～友だちと伝え合い、考えを深める授業づくり～	豊かな学びを目指して～友だちとかわり合いながら、問題や課題を解決する授業を通して～	豊かな学びを目指して～能動的に学び合うアクティブ・ラーニングの実践～	主体的・対話的な学びから表現力の育成をめざして～情報機器の効果的な活用～	主体的・対話的に学ぶ児童の育成～ICTの効果的な活用～
福田小	自ら考え表現する児童が育つ授業をめざして～子どもの思考が深まる学習活動～	協働して探究する児童をめざして～価値づけてつなぐアクティブラーニング～総合的な学習時間を通して～	主体的にイキイキと学ぶ児童と教師	主体的に学ぶ児童の育成	主体的に学ぶ児童の育成

大野原小	心身ともに健康な子どもをめざして～生涯にわたって運動に親しむことができる子どもの育成～	「心身ともに健康な子どもをめざして」～運動に親しみ、めあてを持って自らを高めようとする子の育成～	心身ともに健康な子どもをめざして～かかわり合いを大切に、めあてを持って自らを高めようとする子の育成～	心身ともに健康な子どもをめざして～かかわり合いを大切に、めあてを持って自らを高めようとする子の育成～	心身ともに健康な子どもをめざして～自他を大切に、より良い人間関係を築く道徳教育の充実～
下福田小	自己肯定感を高め、豊かな心をはぐむために～わかりやすい授業づくりをめざして～	「一人一人の学びを大切に授業の工夫」～具体的な評価方法の在り方～	「子どもが主体的に学ぶ授業の工夫」～自分の想いを発信する子を目指して～	社会科/生活科の本質にせまる授業の工夫～課題解決力の向上を目指して～	自分の考えを表現できる授業づくり
大和東小	自ら考え判断し、学習に取り組む力を育てる指導と評価～思考力・判断力・表現力を育む算数の指導と評価～	「自ら考え判断し、学習に取り組む力を育てる指導と評価」～思考力・判断力・表現力を育む算数の指導と評価～	「自ら考え判断し、学習に取り組む力を育てる指導と評価」	「自ら考え主体的に取り組む子の育成をめざして」～心のふれあいを大切にしたい道徳教育～	自ら考え、主体的に取り組む子の育成をめざして～心のふれあいを大切にしたい道徳教育～
文ヶ岡小	心も体も健康な文つ子をめざして	「心も体も健康な文つ子をめざして」	「心も体も健康な文つ子をめざして」	学力向上につながる日常授業の改善	学力向上につながる日常授業の改善
中央林間小	心と心でつなげよう「自分と仲間・今と未来」～言語活動の充実を通して～	心と心でつなげよう「自分と仲間・今と未来」～「言語活動の充実」を通して～	心と心でつなげよう「自分と仲間・今と未来」～カリキュラムマネジメントを通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子を目指して～カリキュラムマネジメントを通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子を目指して～道徳科の授業を通して～
引地台小	認め合い、伝え合い、深め合う子どもの育成～充実した言語活動を通して～	もっと高めあえる学習指導の工夫～国語科での言語活動を通して～	相手を認め、知識を深め、共に学び合う楽しさを知り、互いの成長を喜び合える子	もっと高めあえる学習指導の工夫～国語科を土台とした総合的な学習を通して相手を認め、知識を深め、ともに学び合う楽しさを知り、お互いの成長を喜び合える子を育てる～	高めあえる学習指導の工夫～国語科を土台とした横断的な学習を通して、相手を認め、知識を深め、ともに学び合う楽しさを知り、お互いの成長を喜び合える子を育てる～
大和中	「自他を認め、心豊かに生きる生徒の育成」～心を育む道徳教育の充実といじめ未然防止の推進～	「自他を認め、心豊かに生きる生徒の育成」～心をはぐむ道徳教育の充実と人間関係づくりの推進～	「自他を認め心豊かに生きる生徒の育成」～人間関係づくりを土台とした意欲的な学びを育てる授業づくり～	「知力・体力・共生力」の育成～持続可能な未来を拓く豊かな心と実践力の育成をめざして～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校を目指して～
光丘中	「未来に光る生徒育成のための小中連携」～小中の交流活動を充実し、さらなる発展に向けて～	「3学期制における学校運営」	「3学期制における学校運営」	「夢に向かって輝く子供の育成を目指す小中連携」	夢に向かって輝く子供の育成を目指す小中連携
渋谷中	学習意欲を高めるための授業改善～国際教室と支援教室をつないで～	「学習意欲を高めるための授業改善」	「学習意欲を高めるための授業改善」	「学習意欲を高めるための授業改善」～情報機器の活用を推進して～	知識の習得から、活用・探求までの学習過程を見通す～知識を生かす道筋を立てる授業を目指して～
つきみ野中	伝え合う力の育成と授業力の向上～話し合い学習の有効なものにするための手立～	「伝え合う力の育成と授業力向上～自己の考えを深めるための話し合い活動の工夫～」	授業のユニバーサルデザイン化～だれにでもわかる授業を目指して～	居場所づくり・絆づくり～みんなが愛着を持てる学校づくりを目指して～	居場所づくり・絆づくり～みんなが愛着を持てる学校づくりを目指して～
鶴間中	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる学び合い活動をめざして～	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる学び合い活動をめざして～9年間の学びのつながりを考えた小中連携～	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる学び合い活動をめざして～9年間の学びのつながりを考えた小中連携～	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる道徳教育の推進～	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる道徳教育の充実～
引地台中	「こころのスキルアップ教育」の取り組みについて	学力向上のため「学習記録」の効果的使い方の検証 授業や学習環境のユニバーサルデザイン化の推進	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切にする授業をめざして～	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切にする授業をめざして～
上和田中	「学びの質を高める授業」～生徒をやる気にさせる指導法の工夫・「言語活動の充実」を意識して～	「学びの質を高める授業」～生徒をやる気にさせる指導法の工夫・「言語活動の充実」を意識して～	「学びの質を高める授業」～基礎力の定着の徹底と思考力・表現力の向上を意識して～	道徳教育をとおして育む健やかで豊かな心～思いやる心・自主自律の心・向上心をもたせる指導実践～	道徳力向上の実践と評価について～指導と評価の一体化をめざしたワークシートづくり～
南林間中	「『わかる授業』づくりを目指して」～基本的な知識や技能を身につけさせるために～	「わかる授業」づくりを目指して～基本的な知識や技能を身につけさせるために～	「わかる授業」づくりを目指して～基本的な知識や技能を身につけさせるために～	「わかる授業」づくりを目指して～基本的な知識や技能を身につけさせるために～	達成度を明確にした授業づくり～目指すべき生徒像の育成のために～
下福田中	「『学び合い』を核とした授業の理想」～学習力を支える思考力(深く学び合えるちから)の育成～	「一人一人の学びを大切に授業の工夫」～具体的な評価方法の在り方～	格差を超える「学習力」の育成～きょうどう的な取り組みを通して～	対話をとおして生徒をつなぐ授業づくり	迷いや葛藤を大切にしたい対話的授業づくり～学びあう教員集団として～

②指定研究・特別委託

学校名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
北大和小					ふれあい教育実践研究推進校
林間小	小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校			
大和小					
草柳小			教育課題研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	教育課題研究推進校
深見小			ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	
桜丘小					
渋谷小					
西鶴間小					小・中学校連携実践研究協力校
緑野小	ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校			小・中学校連携実践研究協力校
上和田小	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校		
柳橋小					ふれあい教育実践研究推進校
南林間小					小・中学校連携実践研究協力校
福田小					
大野原小	ふれあい教育実践研究推進校 子どもjoy!joy!プラン健康・体力づくり実践研究校	教育課題研究推進校 子どもjoy!joy!プラン健康・体力づくり実践研究校			
下福田小				教育課題研究推進校	教育課題研究推進校
大和東小			ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	
文ヶ岡小	教育課題研究推進校 子どもjoy!joy!プラン健康・体力づくり実践研究校	教育課題研究推進校 子どもjoy!joy!プラン健康・体力づくり実践研究校	小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校	

中央林間小					
引地台小					
大和中					
光丘中			小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校	
渋谷中					
つきみ野中			ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校	
鶴間中	小・中学校連携実践研究推進校	小・中学校連携実践研究協力校			ふれあい教育実践研究推進校
引地台中		教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	
上和田中	教育課題研究推進校				
南林間中					小・中学校連携実践研究推進校
下福田中	ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校			教育課題研究推進校

③児童生徒指導関係

ア 指導力の向上と指導体制の確立

大和市いじめ防止基本方針の徹底

学校別児童指導研修会

学校別生徒指導研修会

イ 小・中学校の連携の強化

いじめ問題対策連絡協議会

第1回：各学校で取り組む、いじめの未然防止における指導の工夫について

第2回：いじめの認知と指導について

ウ 家庭・地域社会等との連携の強化

地域活動推進事業

大和市家庭地域教育活性化会議

公立中学校校長・生徒指導担当者と保護司との連絡協議会

エ 児童・生徒指導の研究・推進

小・中学校連携実践研究推進校の設置

児童・生徒指導推進事業

児童支援中核教諭の配置（全小学校 19 校）

オ 教育相談の推進

④特別支援教育関係

ア 大和市特別支援教育センター（アンダンテ）の設置

a はぐくみの教室(通常の学級に在籍する情緒・行動面等に課題のある児童生徒の通級指導教室)

b ひだまりの教室(特別支援学級に在籍の不登校児童生徒の教育支援教室)

c 教育的ニーズのある児童・生徒に対する教育相談体制の充実

就学相談

障がいのある児童・生徒・保護者に関する相談

d 特別支援教育に関する研究・研修及び理解・啓発

校内支援体制の充実

交流・共同学習の推進

特別支援教育研修会

大和市特別支援教育研究会委託

イ 特別支援教育ヘルパー配置（平成4年度から）

ウ 特別支援教育スクールアシスタント配置（平成16年度から）

エ ことばの教室（平成6年度から）

オ 大和市立病院院内学級（病虚弱児学級）（平成6年度から）

カ 医療的ケアが必要な児童生徒に対する看護師派遣（平成30年度から）

(4) 国際教育

国際教育の推進を図るとともに、外国人児童生徒及び帰国児童生徒の適応指導、日本語指導、特性の保持・伸長のために国際教室を設置しています。また、昭和61年度から、外国人英語指導助手の派遣を行い、平成11年度からは、英語指導等のため、小学校に国際教育指導員を派遣するなど、英語指導の充実と国際交流活動に努めています。

また、平成30年度から、外国人児童生徒支援コーディネーター、日本語指導巡回教員、日本語指導アドバイザーを配置し、外国につながる児童生徒への日本語指導・教科指導等の支援について充実してまいります。

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国際教室	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 草柳小学校 上和田小学校 大和東小学校 緑野小学校 鶴間中学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 草柳小学校 上和田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 北大和小学校 上和田小学校 大和東小学校 大和東小学校 緑野小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 上和田小学校 大和東小学校 緑野小学校 中央林間小学校 南林間小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 引地台小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校
英語指導助手	3名	3名	3名	3名	3名
外国人児童生徒支援 コーディネーター				1名	1名
日本語指導 巡回教員				1名	1名
日本語指導 アドバイザー				1名	1名
小学校外国語 活動指導助手	8名	8名	8名	9名	9名

外国人 児童生徒 教育相談員	18名	17名	19名	19名	19名
	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 韓国・朝鮮語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 韓国・朝鮮語 タガログ語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 韓国・朝鮮語 タガログ語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語
日本語指導員	7名	7名	8名	7名	6名

(5) 学校への助成等

番号	内容／年度	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
1	児童・生徒指導強化対策事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	進路指導推進事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	特別支援教育推進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	教育研究会等補助事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	健康増進特別事業補助金（キャンプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	健康増進特別事業補助金（福祉体験）	—	—	—	—	—	—	—	○	○
7	健康増進特別事業補助金（車いすバスケット）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
8	文化的行事助成事業補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	美術鑑賞事業補助金（小学校のみ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	神奈川県中学校文化連盟大和支部総合文化祭補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	教職員研修参加負担金	○	○	○	○	○	×	×	×	×
12	学校別児童・生徒指導研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	地域教育力活用推進事業（勤労生産学習推進事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	地域教育力活用推進事業（教育支援者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	中学校部活動指導者派遣事業・部活動補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6. 児童・生徒及び教職員の推移

(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数（各年5月1日現在）

学 校 \ 年	27	28	29	30	元
北 大 和 小	1,138	1,110	1,095	1,141	1,131
林 間 小	944	944	985	960	954
大 和 小	1,027	1,042	1,018	1,040	1,006
草 柳 小	522	495	477	450	435
深 見 小	458	461	474	498	506
桜 丘 小	410	407	425	423	443
渋 谷 小	567	607	613	636	626
西 鶴 間 小	681	654	657	675	669
緑 野 小	757	759	792	786	793
上 和 田 小	323	309	304	314	288
柳 橋 小	507	497	512	538	542
南 林 間 小	618	614	619	613	605
福 田 小	702	663	656	631	607
大 野 原 小	685	691	697	725	696
下 福 田 小	489	486	474	501	494
大 和 東 小	455	457	471	493	499
文ヶ岡小	393	421	456	475	488
中央林間小	584	611	621	619	659
引地台小	368	390	383	362	358
計	11,628	11,618	11,729	11,880	11,799
大 和 中	794	791	821	791	833
光 丘 中	875	879	853	839	851
渋 谷 中	333	319	331	305	311
つきみ野中	869	892	924	871	896
鶴 間 中	406	403	399	411	416
引地台中	694	680	649	628	634
上 和 田 中	393	381	348	354	338
南 林 間 中	770	762	772	803	759
下 福 田 中	383	360	335	303	300
計	5,517	5,467	5,432	5,305	5,338

(2) 年度別学校職員定数

〈小学校〉

令和元年5月1日現在

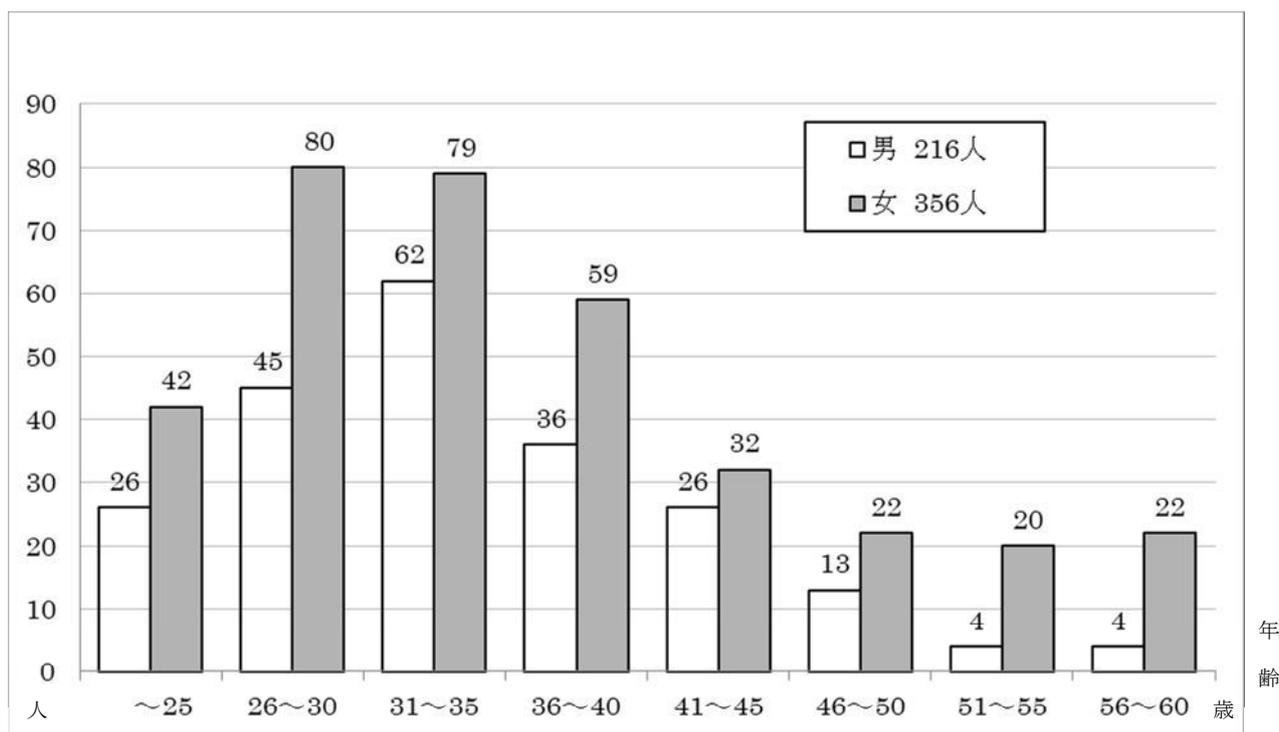
年度 区分	27	28	29	30	元
校長・教頭	38	38	38	38	38
総括教諭・教諭	552	556	567	581	599
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	22	22	22	22	22
栄養教諭	4	4	4	4	4
事務職員	29	26	27	28	27
栄養士	5	5	5	5	5
学校給食員	14	10	10	8	8
庁務作業員	19	19	19	19	19
合 計	683	680	692	705	722

〈中学校〉

年度 区分	27	28	29	30	元
校長・教頭	18	18	18	18	18
総括教諭・教諭	316	313	312	311	318
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	11	11	12	12	12
栄養教諭	—	—	—	1	1
事務職員	18	15	15	16	15
栄養士	2	2	2	1	1
庁務作業員	9	9	9	9	9
合 計	374	368	368	368	374

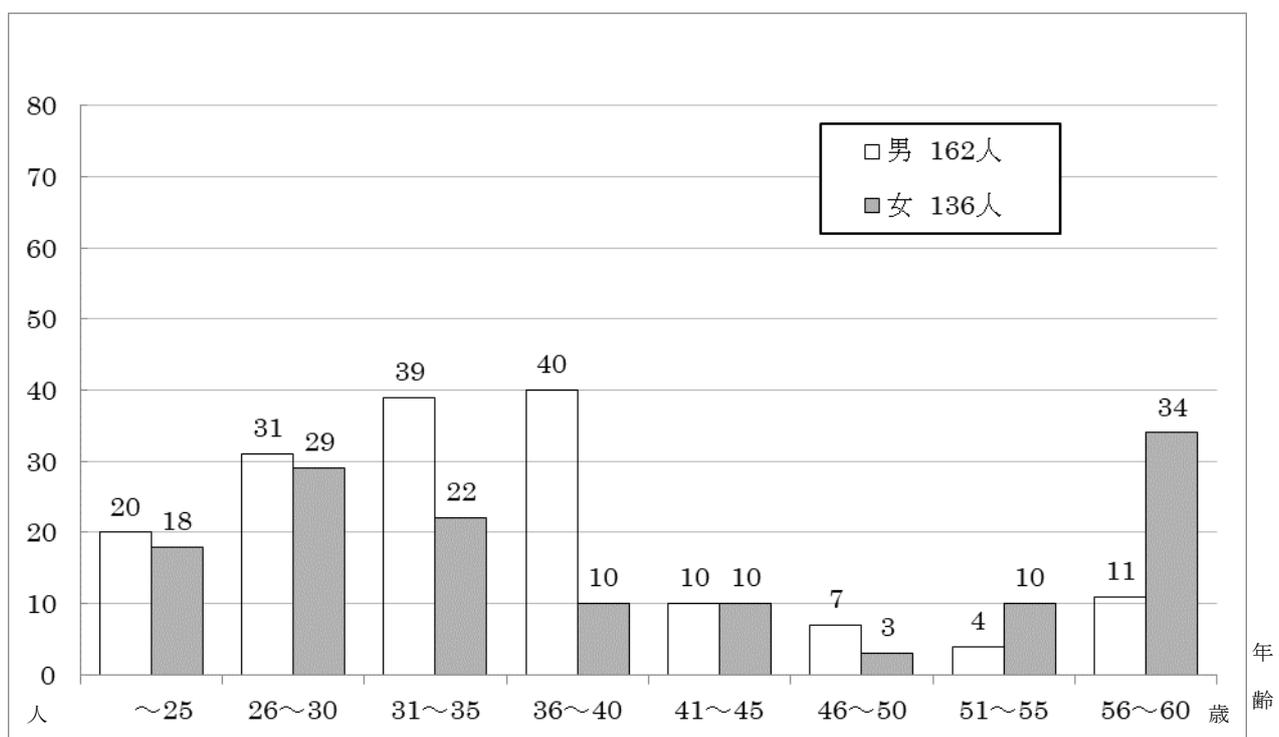
(3) 教員の年齢別・男女別一覧（校長・教頭・再任用教諭・養護教諭・事務・栄養・市費を除く）

小学校



※年齢は、令和元年度末時

中学校



※年齢は、令和元年度末時

7. 特別支援学級

〈学級数・児童生徒数の推移〉

令和元年5月1日現在

区 分		年				
		27	28	29	30	元
小 学 校	学級数	52	79	79	83	86
	児童数	269	384	390	422	448
中 学 校	学級数	25	25	29	31	33
	生徒数	95	126	138	145	153
計	学級数	77	104	108	114	119

8. 進路状況

〈年度別中学校卒業者の進路状況〉

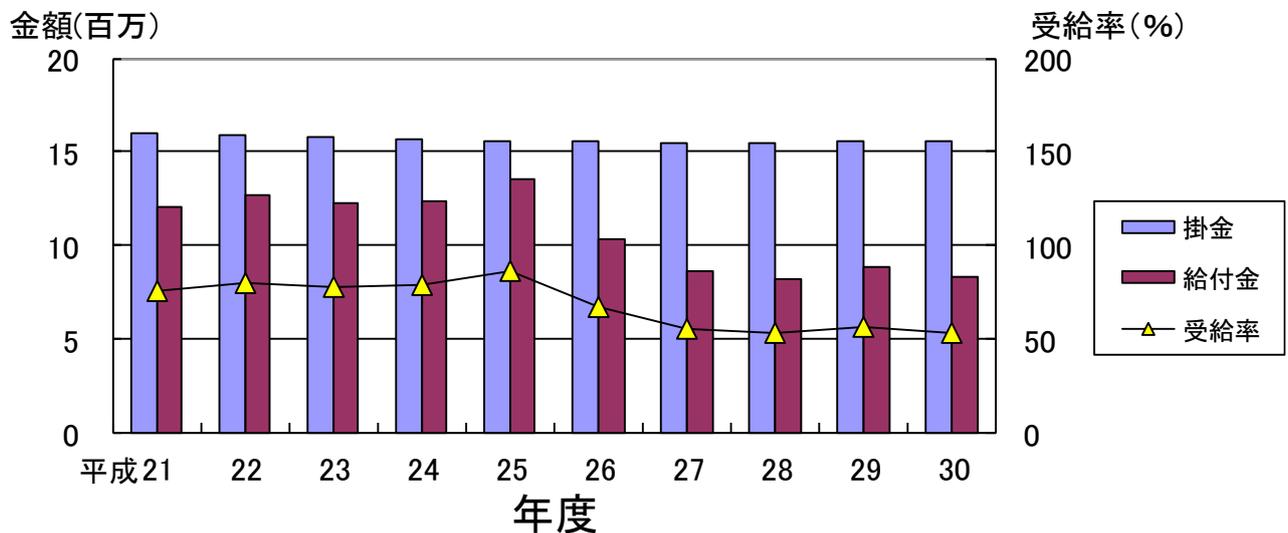
区 分		年 度		26		27		28		29		30	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		
卒業者総数	男	986	100.0	941	100.0	909	100.0	936	100.0	954	100.0		
	女	942	100.0	913	100.0	912	100.0	938	100.0	860	100.0		
高校進学者	男	971	98.5	919	98.5	901	99.1	922	98.5	944	99.0		
	女	932	98.9	903	98.9	907	99.5	927	98.8	853	99.2		
就 職 者	男	6	0.6	4	0.4	0	0.0	1	0.1	2	0.2		
	女	1	0.1	2	0.2	0	0.0	1	0.1	1	0.1		
就職・進学者	男	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	女	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
各種学校等	男	5	0.5	11	1.2	1	0.1	9	1.0	5	0.5		
	女	1	0.1	7	0.7	1	0.1	3	0.3	3	0.3		
そ の 他	男	4	0.4	7	0.7	7	0.7	4	0.4	3	0.3		
	女	8	0.8	1	0.1	4	0.4	7	0.7	3	0.3		

9. 日本スポーツ振興センター

(1) 掛金等の状況

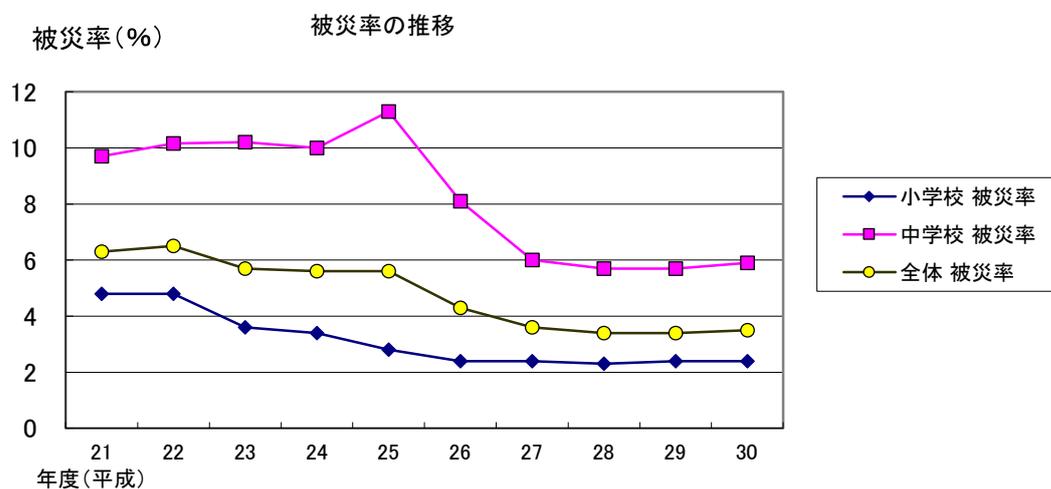
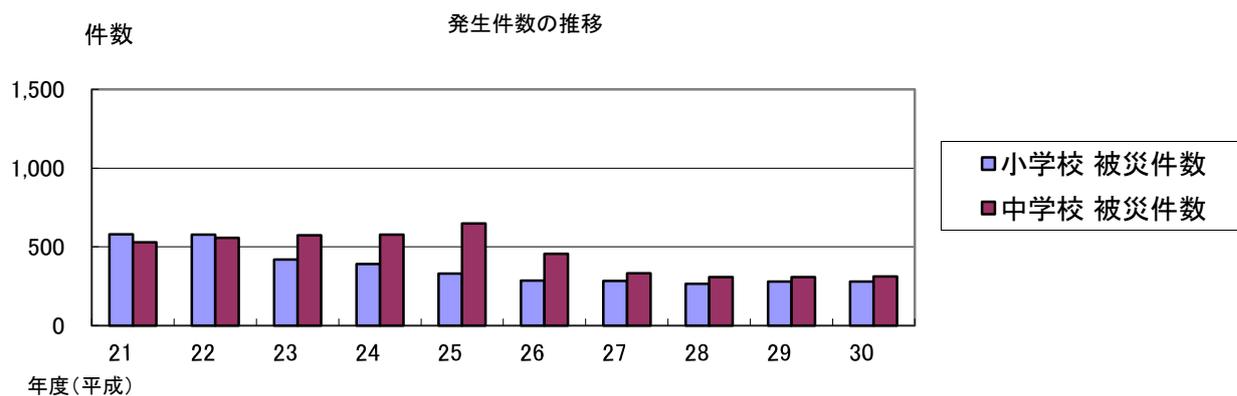
年 度	掛 金	給 付 金	受 給 率	備 考
21	16,031,685	12,057,454	75.2	
22	15,895,225	12,715,669	80.0	
23	15,746,250	12,289,272	78.0	
24	15,681,845	12,410,473	79.1	
25	15,633,195	13,542,057	86.6	
26	15,488,960	10,317,541	66.6	
27	15,507,705	8,631,574	55.7	
28	15,475,475	8,182,016	52.9	
29	15,547,420	8,881,465	57.1	
30	15,586,715	8,331,086	53.4	

掛金等の推移



(2) 災害発生状況

区分 内 訳	小 学 校			中 学 校			合 計		
	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率
21	12,157	579	4.8	5,470	529	9.7	17,627	1,108	6.3
22	12,046	577	4.8	5,493	558	10.2	17,539	1,135	6.5
23	11,797	419	3.6	5,634	573	10.2	17,431	992	5.7
24	11,582	392	3.4	5,756	577	10.0	17,338	969	5.6
25	11,534	330	2.9	5,733	649	11.3	17,267	979	5.7
26	11,504	286	2.5	5,587	457	8.2	17,091	743	4.3
27	11,628	284	2.4	5,517	332	6.0	17,145	616	3.6
28	11,618	266	2.3	5,467	309	5.7	17,085	575	3.4
29	11,729	280	2.4	5,432	309	5.7	17,161	589	3.4
30	11,880	280	2.4	5,305	313	5.9	17,185	593	3.5



10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励

(1) 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して援助を行います。

〈就学援助費支給状況〉

平成30年度（単位：円）

区分 内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	2,706	122,442,509	1,279	63,884,890	3,985	186,327,399
学用品費・通学用品費・校外活動費等	2,714	38,951,870	1,311	33,376,980	4,025	72,328,850
新入学児童生徒学用品費	161	6,536,600	50	2,370,000	211	8,906,600
修学旅行費	511	9,955,481	436	24,614,650	947	34,376,721
通 学 費	0	0	2	120,110	2	120,110
体育実技用具費	0	0	20	55,950	20	55,950
宿泊を伴う校外活動費	392	1,516,780	421	2,580,300	813	4,097,080
入 学 準 備 金	768	33,848,400			768	33,848,400
医 療 費	7	68,660	1	12,621	8	81,281
めがね購入費	198	3,291,226	168	2,780,500	366	6,071,726

(2) 特別支援教育就学奨励

大和市の小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するため行います。

〈特別支援教育就学奨励費支給状況〉

平成30年度（単位：円）

区分 内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	180	4,120,490	63	1,575,970	243	5,696,460
学用品費・通学用品費・校外活動費	171	1,100,201	60	678,479	231	1,778,680
新入学児童生徒学用品費	35	696,546	23	490,368	58	1,186,914
修学旅行費	17	165,345	25	695,864	42	861,209
宿泊を伴う校外活動費	25	45,250	16	47,387	41	92,637
交流及び共同学習費	0	0	0	0	0	0
職 場 実 習 費	0	0	0	0	0	0
通 学 費	21	42,811	80	58,072	101	100,883
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0

11. 学校給食

学校給食は、食事を通じ、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、正しい食事のマナーや栄養のとり方、望ましい食習慣を養い、感謝の気持ちを持って食べる態度を育てることを目標として実施しています。

大和市における学校給食は、昭和34年に市立林間小学校で主食と牛乳（脱脂粉乳）とおかずによる完全給食が実施され、単独調理校として始まりました。

現在では、3ヶ所の共同調理場と8ヶ所の単独調理校で大和市立小・中学校の完全給食を実施しています。

また、日本型食生活が見直されている中で、米飯給食を昭和57年4月から週1回実施し、その後、昭和63年4月から週2回に増え、平成22年6月より週4回の米飯の提供を実施しています。さらに、平成12年から自校・場炊飯を開始し、現在は年16回実施しています。また、給食環境整備の一環として、余裕教室を利用したランチルームを設置（現在3校）するほか、平成22年4月より、食器材質をアルマイトから樹脂製食器に変え、先割れスプーンを廃止し、箸を導入したことで、より充実した食環境となりました。

平成25年4月には「大和市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成し、給食費の飲用牛乳アレルギー返金を開始しました。また、平成26年4月からは第3子以降学校給食費助成事業を行っています。

(1) 調理方式別による学校数（令和元年5月1日現在）

① 単独調理校	小学校	8校
② 共同調理場受入校	小学校	11校
	中学校	9校

(2) 学校給食の内容

① 沿革（完全給食開始年月日）

開始年月	学校名	開始年月	学校名
昭和34年2月	※林間小学校	昭和38年2月	桜丘小学校
〃 36年1月	大和小学校	〃 42年5月	西鶴間小学校
〃 37年2月	北大和小学校	〃 48年4月	※北部共同調理場
〃 37年2月	草柳小学校	〃 51年9月	南部共同調理場
〃 37年2月	深見小学校	〃 55年9月	中部共同調理場
〃 38年2月	渋谷小学校	※林間小学校で市内小学校最初の完全給食を実施。 ※北部共同調理場で市内中学校最初の完全給食を実施。	

② 給食内容

学校給食に供する食物は、パン・米飯・牛乳・おかずの組み合わせによる献立を1食分とし、児童・生徒の栄養がみたされるように工夫されています。

A 学校給食における食事内容…………… 別表1

B 給食費及び給食単価（平成 30 年度分）

小学校 4,260 円×11 ヶ月÷191 回=245 円

中学校 4,740 円×11 ヶ月÷186 回=280 円

C 給食費の推移…………… 別表 2

別表 1 学校給食における食事内容

文部科学省基準（児童生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準）

区 分	栄 養 量			
	児童（6 歳～7 歳）の場合	児童（8 歳～9 歳）の場合	児童（10 歳～11 歳）の場合	生徒（12 歳～14 歳）の場合
エ ネ ル ギ ー (kcal)	530	650	780	830
た ん ぱ く 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 13%～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 20%～30%			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2 未満	2 未満	2.5 未満	2.5 未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム（mg）	40	50	70	120
鉄（mg）	2.5	3	4	4
ビ タ ミ ン A (μg RE)	170	200	240	300
ビ タ ミ ン B1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビ タ ミ ン B2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビ タ ミ ン C (mg)	20	20	25	30
食 物 繊 維 (g)	4 以上	5 以上	5 以上	6.5 以上

（注） 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜 鉛……………児童（6～7 歳）2mg， 児童（8～9 歳）2mg， 児童（10～11 歳）3mg
生徒（12～14 歳）3mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

別表 2 給食費の推移

年 度	給 食 費	年 度	給 食 費	年 度	給 食 費
昭和 34	(小) 360 円	49 ～ 50	(小) 2,000 円	4～	(小) 3,500 円
37	(小) 450 円		(中) 2,300 円		9
38～39	(小) 500 円	51 ～ 52	(小) 2,400 円	10～	(小) 3,700 円
40～41	(小) 650 円		(中) 2,800 円		20
42～44	(小) 750 円	53 ～ 54	(小) 2,600 円	21～	(小) 4,000 円
45	(小) 900 円		(中) 3,000 円		23
46	(小) 1,100 円	55 ～ 56	(小) 2,800 円	24～	(小) 4,140 円
47	(小) 1,250 円		(中) 3,200 円		25
48	(小) 1,500 円	57～ 平成 3	(小) 3,100 円	26～	(小) 4,260 円
	(中) 1,500 円		(中) 3,600 円		(中) 4,740 円

※平成 24 年度は提供回数増に伴う改定。※平成 26 年度は消費税増税に伴う改定。

③ 献立の作成方法

献立は、1 ヶ月ずつ市内統一献立が作成され、各校・場で実施されています。作成時には、栄養面・経済面・衛生面・作業面・地域面・し好面を考慮し、児童・生徒にあった献立を考えています。

④ 物資の購入方法

物資の購入にあたっては、給食用物資の適正な納入を図ることを目的として、運営されている物資選定委員会があり、この会は、学校長・場長・給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・教育委員会の各代表により構成され、年6回開催されています。

(3) 単独調理校

単独調理校は、小学校のみ8校です。各学校では、学校長始め、給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・給食調理員が協力して給食の充実を図っています。

(4) 学校給食共同調理場

共同調理場は現在、北部学校給食共同調理場・中部学校給食共同調理場・南部学校給食共同調理場の3調理場で受入校（小学校11校、中学校9校）の給食を提供しています。

各共同調理場は場長・栄養士が中心となり、調理・配送業務等は民間業者に委託して、給食の充実を図っています。

* 大和市学校給食共同調理場運営協議会

運営協議会は、調理場の運営に関する重要な事項について審議し、又調査研究を行い助言することを目的に設置され、小中学校長・P T A・学識経験者等、12人の委員で組織されています。

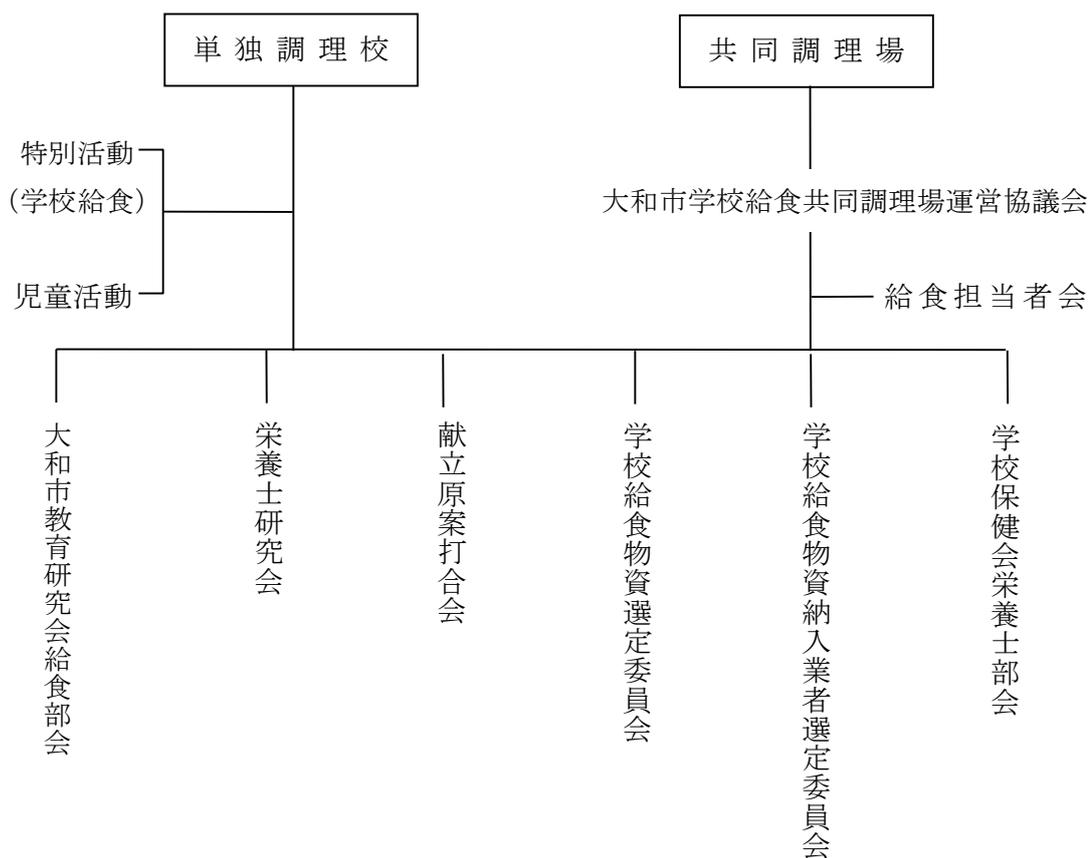
(5) 職員構成

令和元年5月1日現在

学校・調理場名	職種	場 長	栄 養 教 諭 又 は 栄 養 士	調 理 員	補 助 員	合 計
北部調理場		1	2	※ 23	※ 21	47
中部調理場		1	2	※ 25	※ 21	49
南部調理場		1	2	※ 29	※ 27	59
北大和小		—	1	※ 6	※ 8	15
林間小		—	1	※ 5	※ 7	13
大和小		—	1	※ 5	※ 7	13
草柳小		—	1	4	4	9
深見小		—	1	4	4	9
桜丘小		—	1	※ 4	※ 4	9
渋谷小		—	1	※ 4	※ 4	9
西鶴間小		—	1	※ 4	※ 8	13
合 計		3	14	113	115	245

- ※ (1) 調理場の調理員には、総務主任・業務主任・調理師・調理員・ボイラー作業員・配送員・庁務作業員を含み、委託業者です。
 (2) 調理場の補助員は、洗浄パート・受入校配膳員で委託業者です。
 (3) 北大和小・林間小・大和小・桜丘小・渋谷小・西鶴間小の調理員・補助員は、委託業者です。

(6) 学校給食運営組織図



(7) 食 数

〈単独調理校〉

〈調理場受入校〉

令和元年5月1日現在

学校名	食 数
北大和小	1,210
林間小	1,034
大和小	1,085
草柳小	486
深見小	553
桜丘小	487
渋谷小	687
西鶴間小	727
合 計	6,269

調理場名	食 数				受 入 校 名
北部調理場	小	1,979	計	3,835	中央林間小 大野原小 文ヶ岡小 大和中 つきみ野中 (計5校)
	中	1,856			
中部調理場	小	2,095	計	4,309	緑野小 柳橋小 南林間小 南林間中 光丘中 鶴間中 (計6校)
	中	2,214			
南部調理場	小	2,443	計	4,201	上和田小 福田小 下福田小 大和東小 引地台小 引地台中 渋谷中 上和田中 下福田中 (計9校)
	中	1,758			
合 計	小	6,517	計	12,345	(受入校全 20校)
	中	5,828			

(8) 学校給食優良校

学校給食優良校等は、国や県において給食の管理運営体制の充実、指導状況、衛生管理、地域との関連等給食全般について総合的な審査が行われ、優秀と認められた学校・調理場に対して表彰されるものです。

年 度	神奈川県表彰	文部大臣表彰
昭和 44	大 和 小	—
45	草 柳 小	—
54	緑 野 小	—
59	深 見 小	緑 野 小
平成 8	大 和 小	—
12	中部調理場	—
16	林 間 小	—
17	—	林 間 小
18	深 見 小	

12. 教育研究所

教育研究所は、教育の研究調査、教育活動の支援、教育情報の発信・提供、教育に関する図書・資料の収集及び貸出し、児童・生徒の学習資料の刊行、教育関係職員・市民の教育研修、研究調査成果の発表及び紀要の出版、市域の教育史料の収集と刊行、教育の情報化の推進、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間の推進などの事業を行っています。

本市教育の実態を把握し、当面する教育課題の解決に資するとともに、知識基盤社会を担う子どもたちに必要な「生きる力」をはぐくむことを視野に入れ、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実、教育の情報化のための環境整備、理数教育充実のための環境整備など、教育研究所の果たすべき役割も増しています。

(1) 調査研究事業

教育に関する基礎的・専門的な分野及び学校教育の場における今日的教育課題について調査研究を行います。また、市内の小中学校教職員より教育実践事例を募集します。その成果は刊行物、研修並びに教育研究所発表会などを通して本市の教育に反映させます。

① 最近5年間の調査研究

調査研究	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1. 情報教育	← (タブレット活用) →		← (プログラミング教育) →		← (情報モラル教育) →
2. 教材開発					
3. 教育課題		← (道徳教育) →		← (教育課程) →	
4. 教育意識	← (児童生徒の生活) →	← (児童・生徒の人間関係) →		← (家庭教育力と学校期待) →	
5. 理科教育	← (観察・実験ハンドブック) →		← (小学校3年生理科 ハンドブック) →		← (小学校理科教育 現状と課題) →
6. 地域教材	← (指導資料集) →				

② 平成30年度に実施した調査研究

研究部会・研究期間	指導担当講師・研究員	研究内容
教育の情報化に関する調査研究部会 (平成29～30年度)	金沢星稜大学 教授 佐藤幸江 小学校教員4人 中学校教員1人	新学習指導要領で必修化される小学校段階におけるプログラミング教育について、プログラミング教育が目指すものを調査研究し、指導内容や指導方法等について提案します。
理科教育に関する調査研究部会 (平成29～30年度)	元市内小学校長 八木吉郎 小学校教員5人	担任が教える機会が多い小学校3年生の理科に焦点を当て、学習指導要領の目標と内容に沿った授業の進め方について、適切な導入、結果のまとめ方等具体例を示しながら提案します。
教育課程に関する調査研究部会 (平成30～31年度)	横浜国立大学大学院 教授 石塚等 小学校教員3人 中学校教員2人	「社会に開かれた教育課程」の実現のために、これからの時代を生きる子どもに身に付けさせたい力を念頭に、学校と地域のつながり方、教育課程編成の視点について提案します。

③ 平成30年度教育実践事例の応募状況

小学校教職員 1件

中学校教職員、小学校教職員連名 1件 計 2件

(2) 研修事業

今日の社会的状況及び校内の教職員の年代構成を踏まえ、“学びつづける教職員”の実現を目指し、人格的資質・課題解決力・授業力など、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実を図ります。

教職員の専門的資質・能力の向上を目指して、次の4つの柱からなる研修事業を行います。また、市民にも研修の機会を提供します。

- 専門領域の深化や視野の拡大を図る理論研修
- 指導技術の向上を目指す実技・実習研修
- 学校・家庭・地域における教育の今日的課題についての研修
- 教育の専門性や個性・特技を伸ばす研修

●平成30年度に実施した研修事業

① 人格的資質向上研修講座（年間2回）

豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【ホスピタリティ】 信頼感・安心感が生まれる人間関係づくり	6月25日 (月)	ホスピタリティコーディネーター 朝岡 万吏江	32人
2	【人権教育】 ※市民公開 自尊感情を育てるいのちの教育	7月25日 (水)	日本ウェルネススポーツ大学 教授 近藤 卓	46人

② 課題解決力向上研修講座（年間4回）

子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【健康・安全教育】 ※市民公開 学ぶ力をつける心と脳のしくみ ～実験心理学からの最新の知見～	7月24日 (火)	日本女子大 教授 竹内 龍人	65人
2	【学級経営】 よりよい人間関係や豊かな生活をつくる 学級活動の実践 ～「望ましい集団活動」を生かす教師力を～	7月24日 (火)	元文部科学省 視学官 宮川 八岐	52人
3	【探究型授業】 発達段階に沿った探究学習デザイン ～読むことと調べることの指導法を学ぶ～	7月26日 (木)	放送大学 客員准教授 塩谷 京子	27人
4	【保護者との関係づくり】 子どもを共に育てるパートナーとして ～保護者とつながる コミュニケーション術から～	8月22日 (水)	神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男	46人

③ 授業力向上研修講座（年間5回）

教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【小学校 外国語】 これからの小学校外国語教育が目指すもの ～新学習指導要領を読み解く～	6月4日 (月)	文部科学省 教科調査官 直山 木綿子	42人
2	【音楽】 学級担任のための合唱指導のヒント ～合唱曲を美しく歌おう～	7月23日 (月)	作曲家 富澤 裕	60人
3	【図工】 子どもが「つくり」「感じて」楽しむ 図画工作の授業づくり ～表現と鑑賞の一体化を考える～	8月3日 (金)	横浜市立小学校 教諭 永縄 啓太	19人
4	【国語】 国語の授業づくりを学び合おう ～教材研究をていねいに～	8月6日 (月)	元小学校 教諭 安田 恭子	32人
5	【算数】 新学習指導要領を見据えた算数授業づくり ～数学的な見方・考え方に焦点を当てて～ (提案授業+講義)	10月22日 (月)	横浜国立大学 教授 池田 敏和	28人

④ 特別講座（年間1回）

社会福祉施設等での体験を通して、幅広い視野からものの見方を体得し、社会人・教育公務員としての自覚の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	参加
1	【社会体験研修】 ■事前打合せ1回 ■体験研修（実習3日間） 市立・私立保育園、社会福祉法人大和しらかし会松風園、社会福祉法人やまねっと（地域作業所）、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団管理施設（大和市自然観察センターしらかしのいえ・引地台温水プール・大和スポーツセンター）大和市立図書館等	5月29日(火) 7月23日(月) 8月3日(金)	28人

⑤ 教育講演会（年間1回） ※市民公開

教職員・保護者・市民が教育について学び、地域・家庭との連携を深めました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	< 教育講演会 > 気になる子どもの理解と対応 ～話しているだけで 子どもがよくなる対話法～	8月21日 (火)	大草心理臨床・教育相談室 大草 正信	59人

⑥ 教育研究所発表会（年間1回） ※市民公開

教育研究所で行った調査研究の概要を発表し、その成果を本市教育に反映しました。

No.	研修内容	月日	参加
1	< 調査研究の発表会 > ■教育意識に関する調査研究部会の発表 児童生徒の人間関係に関する調査について分析をし、提言としてまとめた。 ■道徳教育に関する調査研究部会の発表 「特別の教科 道徳」の充実を目指し、小中学校における授業の在り方について発表した。	8月21日 (火)	37人

⑦ 理科教育研修講座（年間4回）

環境教育や理科教育の考え方・指導法を研修するとともに、指導力の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【小学校理科観察・実験】 小学校理科の観察・実験の基礎	6月27日 (水) 6月29日 (金)	県立青少年センター 技師	36人
2	【科学的素養】 ※市民公開 未来のエンジニアである子どもたちに つけさせたい力 ～A I・ロボットの開発を通して～	7月27日 (金)	玉川大学 教授 先端知能・ロボット研究センター 主任 岡田 浩之	23人
3	【理科実地研修】 江の島の自然観察	8月10日 (金)	元藤沢市立小学校長 菊池 久登	10人
4	【理科訪問研修】 生き物の飼育法、科学工作、観察・実験器 具の取り扱いの基礎 等	5月～ 12月	大和教育研究所 理科教育担当 指導主事	2校 2団体

⑧ 情報教育研修講座（年間8回 + 訪問研修回数）

・校内LAN・コンピュータ教室基礎研修

校内LANとコンピュータ教室の基本的な仕組みと操作について学びました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【PC教室利用基礎】（中学校） 校内LANとICT機器活用	8月23日 (木)	インストラクター	17人
2	【PC教室利用基礎】（小学校） 校内LANとICT機器活用	8月24日 (金)	インストラクター	34人

・校務支援システム初任者・異動者研修

校務支援システムの使用方法について学びました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
3	校務支援システムの仕組みや操作方法について	4月16日 (月)	インストラクター	60人
		4月24日 (火)		45人

・情報セキュリティ研修

学校の情報資産及びそのセキュリティ対策について理解を深め、情報管理の意識を高めました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
4	校内における情報セキュリティ対策について	12月25日 (火)	インストラクター	35人

・訪問研修（＊6月以降）

勤務校を会場にした研修を学校の要請等により開催し、教育の情報化を推進しました。

○基本ソフトの操作・活用法を学び、校務における事務の効率化を図りました。

○ICT機器を授業に活用する手法を学び、授業力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	回数
5	ICT機器活用、基本ソフト活用、タブレット・電子黒板活用等	6～2月の随時 1～3時間	情報教育担当指導主事	5校+1団体

⑨ 実践力向上研修

課題意識を持ち、課題解決のために活動することを通して実践力の向上を図りました。

No.	部会	月日	事務局	参加
1	今日的教育課題部会 学力向上部会 特別支援教育部会 不登校部会	1年間	教育研究所 指導室 指導室 青少年相談室	27人

◎ 平成30年度の成果と平成31年度・令和元年度の課題

受講者からの評価が高い講座が多く、講座の内容、講師ともに充実した研修を提供することができました。今後は中学校教員の参加者数を更に伸ばしていきたいと考えています。

経験の浅い教員の増加などに伴い、体験型や、すぐに役立つ実践型の講座開催への要望が多く寄せられています。それらの要望に配慮するとともに、内容のバランスを考慮しながら幅広いジャンルから講師を選定し、教員としての資質や教養を高める講座も計画していきます。また、授業研究を含む講座の需要も高いため、教師による提案授業や講師による模範授業と講義を組み合わせる形の講座を計画し、授業力向上を目指します。

理科教育研修講座に関しては、理科の指導力向上を図るため、学校だけではなく、市教育研究会の要望に応じた理科訪問研修を2回実施しました。30年度要望のなかった学校等への訪問研修や、受講者1名からの訪問研修については学校への周知を行い、今後も実施していきたいと考えます。

情報教育研修講座に関しては、タブレット型PCの効果的な活用方法についての研修により活用が広がりました。今後も学校の必要とする、より専門的で実践的な研修を行うようにしていきたいと考えています。

情報セキュリティ研修は、各学校の情報セキュリティの意識向上を目的に、各校1名以上参加としました。セキュリティに関しては、研修だけではなく、刊行物、ネットワークリーダー会議等でも注意喚起を行っていきます。

(3) 情報教育に関する事業

小中学校における情報教育については、情報モラルをベースとした、情報を適切に活用できる「情報活用能力の育成」がより求められるようになりました。このことから、次のように基本方針を定め推進しました。

○小中学校の体系的な情報教育の推進に努めます。

教科等における学習目標の達成を目指す中で、児童・生徒に「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、情報モラルなどの「情報社会に参画する態度」が育成されるよう、体系的な情報教育の推進に努めます。

○将来にわたって生かせる情報活用能力の基礎を育成します。

様々な情報や情報手段に慣れ親しみながら、主体的に情報を判断・活用し、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けた児童・生徒の育成に努めます。

●平成30年度に実施した事業

① 教育の情報化プロジェクト委員会

本市における情報教育に関する基本方針や方向性を検討します。諮問機関としての性格を有し、委員の任期は1年間です。

構成	・小学校長会代表		・中学校長会代表		・情報教育推進校代表	
	・情報教育調査研究部会代表		・ネットワークリーダー代表		・教育委員会代表	
No.	月	日	内 容			
1	11月	27日 (火)	委嘱式、報告及び協議 (各取組みの報告・情報セキュリティ)			
2	2月	21日 (木)	報告及び協議 (情報教育研修講座参加状況・情報教育計画の確認)			

② 校務支援システム推進委員会

校務支援システムをより円滑に運用していくために、運用に関する種々の問題の共有を推進するとともに、その解決を図りました。

構成	・小学校長会代表		・中学校長会代表		・小学校教頭会代表	
	・中学校教頭会代表		・小学校教務担当代表		・中学校教務担当代表	
	・養護教諭代表		・中学校進路担当代表		・事務主事・主査代表	
					・教育委員会代表	
No.	月	日	内 容			
1	3月	12日 (火)	運用のてびきの確認、アンケート回答の検討等			

③ ネットワークリーダー会議

市内各学校での情報教育の推進について考え、情報交換、要望の集約、連絡・調整、研修を行いました。各学校代表と教育委員会代表で構成します。

No.	月	日	内 容			
1	4月	25日 (水)	連絡：「担当者の役割、情報セキュリティについて」等			
2	9月	26日 (水)	研修：情報モラル研修 「大和市の子供たちのネット利用の実態調査結果と指導について」 株式会社教育ネット 池本 香衣 氏 連絡：「研修講座、情報セキュリティ点検について」等			
3	3月	4日 (月)	研修：情報セキュリティ研修 「情報セキュリティについて」 株式会社内田洋行 五十嵐 晶子 氏 連絡：「年度末・年度始めの作業、年度末における電子データの適切な管理、年度末調査について」等			

④ 情報教育推進校 教育の情報化推進校

情報教育の実践的研究を推進し、その成果を本市の教育に反映しています。(委託期間2年間)

- 【研究内容】
- 「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度(特に情報モラルを中心に)」等の情報活用能力の育成に関すること。
 - ICT機器を効果的に活用した授業改善に関すること。
 - 子供たちの情報活用能力の育成に関すること。
 - 教科指導における情報通信技術の活用に関すること。
 - 校務の情報化に関すること。

南林間小学校 (2年次)
研究テーマ 主体的・対話的に学ぶ児童の育成 ～ICTの効果的な活用～
研究講師 茨城大学 教育学部 准教授 小林 祐紀

⑤ 情報モラル教育支援事業

平成 26 年度より業者委託による事業を開始しました。各小中学校の実態を調査し、結果に合わせた指導方法の提示や対応を行い、平成 31 年度も継続実施していきます。

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校でのヒアリング業務 ・教職員研修会・授業支援・保護者講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校でのヒアリング業務 ・教職員研修会・授業支援・保護者講習会 ・ネットトラブル対応（直接対応・電話）

⑥ コンピュータ機器整備

情報教育の目的達成に寄与すべく、学習指導の改善・充実を目指して、小中学校に教育用コンピュータを設置し、情報教育を推進しています。

○コンピュータ設置状況

	小学校	中学校
平成25年度	231台（リース H26. 3. 3～H30. 8. 31） 校務用コンピュータ 236台 13台（特別支援学級用タブレット） 北大和、桜丘 12台 教育委員会用 1台	378台（42台×9校）PC教室機器更新 9台（理科室電子黒板用1台×9校） 6台（特別支援学級用タブレット） 光丘
平成26年度	922台（リース H26. 9. 1～H31. 8. 31） PC教室用タブレット 41台×19校 779台 大規模校用タブレット北大和、林間、大和 41台×3校 123台 PC教室管理用 19台 教育委員会用タブレット 1台 94台（リース H26. 10. 1～H31. 9. 30） 特別支援学級用タブレット 94台 465台（リース H27. 3. 1～H32. 2. 29） 教職員校務用PC 426台 国際教室用タブレット 39台 19台（図書室用PC）	123台（リース H26. 9. 1～H31. 8. 31） 教室用タブレット 41台×3校 123台 33台（リース H26. 10. 1～H31. 9. 30） 特別支援学級用タブレット 33台 306台（リース H27. 3. 1～H32. 2. 29） 教職員校務用PC 10台 教室用タブレット 44台×6校 264台 国際教室用タブレット 3台×7校 21台 大和市立病院院内学級用タブレット 4台 教育支援教室用タブレット 6台 大和市立病院院内学級教員用PC 1台 9台（図書室用PC）
平成27年度	22台（リース H27. 9. 1～） 学校代表PC 19台 校務用PC 3台 6台（リースH27. 9. 1～） ことばの教室用タブレット	13台（リース H27. 9. 1～） 学校代表PC 9台 校務用PC 4台
平成28年度	380台（リース H28. 9. 1～） 各校電子黒板用PC 366台 各校校務用PC 8台 教育委員会用 5台 市立病院院内学級PC 1台	354台（リース H28. 9. 1～） 各校校務用PC 343台 青少年相談室職員用PC 2台 中学校職員系サーバ 9台
平成29年度	19台（リースH29. 9. 1～） 小学校職員系サーバ 19台 8台（電子黒板用PC） 8台 1台（国際交流用PC） 1台	
平成30年度	286台（リース H30. 9. 1～） 各校校務用PC 265台 電子黒板用PC 15台 教育委員会用PC 4台 理科センター用 2台	18台（リース H30. 9. 1～）電子黒板用PC
現在設置保守台数3545台（サーバ台数含む） 平成31年3月31日現在		

⑦ 国際交流

インターネット回線によるビデオ通話サービスを活用し、オーストラリアの小学校と市内の小学校とでリアルタイム交流を推進しています。

◎ 平成30年度の成果と平成31年度・令和元年度の課題

基本方針のもと、児童・生徒へ還元できる形で教職員への研修や、機器等の整備を行いました。平成28年度に本格稼働した校務支援システムは、研修等を多く設定した結果、円滑に運用されています。

I C T機器の活用を各教科等の学習の中に適切に位置付け、授業を進めていけるよう、I C T支援員を配置して、各学校のニーズに合わせて、授業支援、校務支援にあたり、効果をあげています。3,500台を超えるコンピュータを管理運用する上で、保守業者及びI C T支援員との連携が不可欠となっています。

学校では、携帯端末によるネットいじめ等の対応に苦慮している現状があります。26年度から引き続き、児童・生徒の実態に合わせた情報モラル教育の支援を、専門の知識を有する業者委託により行いました。内容は、各学校での児童生徒の実態のヒアリング業務、授業支援、講演会、トラブル対応等で、本市の実態に合った教育支援を行うことができました。情報機器やネットワーク環境を正しく利用する知識と判断力を育成するため、今年度も引き続き実施していきます。

情報セキュリティについては、研修とともに、今後の学校における情報セキュリティ対策の在り方を示すものとして、「教育ネットワークシステム管理運用マニュアル」の随時見直しを行い、ネットワークの適切な運用により、情報教育を推進しています。

本市の学校では、市の規定に則った情報の運用管理となっています。そのため、基本方針の元に施策を行っていく中で、様々な課題が出てきています。情報セキュリティ点検（監査）が、27年度より本実施となりました。情報資産の管理・運用、事務の流れなど、学校の負担にならないように行政としてできることをしていきたいと考えています。

(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業

「生きる力」の育成を目指した授業を支援するために、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業の推進を図ります。調査研究・研修講座の充実を図るとともに、授業支援を行っています。

① 理科教育機器の整備・貸出し

学習指導要領に対応し、理科備品の整備拡充を図り、理科教育の充実のために機器の貸出しを行っています。

●平成30年度の理科教育機器の貸出し

内 容	
電熱線コンロ(2)	電流計(8) 骨格模型(8) 保護めがね(40) ビーカー(16) 電子てんびん(8)
実験スタンド(4)	マヨネーズ容器(40) 昆虫標本(12) 電源装置(2) 深底ホットプレート(6)
地層剥離標本(2)	化石レプリカ標本(4) 放射型温度計(8) ボーリング資料(1)

② 理科教育の相談・支援

観察・実験上での指導に関すること、教材研究や教材提供、理科におけるレファレンスサービスを行っています。

●平成30年度の相談・支援

相談項目	主な相談内容	件数
教材提供	・生物教材提供（微小生物 6種） ・アンモナイト化石	24件
教材研究	・スチールウールの溶かし方について ・微小生物の観察方法について ・メダカの飼育方法と観察方法について ・学校敷地内における動植物の観察について	8件

教育相談	・地層の見学ができる場所について ・科学ワークショップについて	・理科室の整備について ・廃液処理の方法について	10件
------	------------------------------------	-----------------------------	-----

③ 環境教育の相談・支援

環境教育推進のための機器の貸出し、教材研究や教材作成の相談を受け付けます。

④ 薬品廃液処理

理科学習時の廃液等を回収し、適切に処理しています。

●平成30年度の薬品廃液処理

産業廃棄物の種類	数量(kg)	処理方法	備考
特別管理廃酸（廃試薬、有害以外の金属含有）	12.82	中和	
特別管理廃アルカリ（廃試薬）	12.55	中和	
特別管理引火性廃油	0.1	焼却	
汚泥（廃試薬）	5.97	焼却	
廃油（廃試薬）	0.5	焼却	

⑤ 「子ども科学教室」の開催

児童・生徒の科学的な考え方や創造力の育成を目的に行っています。

●平成30年度の子ども科学教室

回	テーマ	月 日	会 場	参加	講 師
1	見て、みがいて、学ぶ コハクって何だろう。	8月1日(水)	柳橋小学校西棟 (理科センター)	31人	教育研究所指導主事
2	カチコチ めげから標本づくり	9月1日(土)	柳橋小学校西棟 (理科センター)	10人	教育研究所指導主事
3	ラジオをつくろう	6月30日(土)	生涯学習センター 文化創造室	合計	神奈川県電波適正 利用推進員協議会
4		11月23日(金)		47人	
5	プログラムを組んで ロボットを動かそう	10月27日(土)	勤労福祉会館 ホール	合計	教育研究所指導主事
6				32人	

プチロボの製作・競技を行い、科学技術発展の裾野を広げます。（県立青少年センターと共催）

テーマ	月 日	会 場	参加	講 師
プチロボで競走しよう (大和大会)	10月6日(土)	生涯学習センター 文化創造室	24人	県立青少年センター 職員

⑥ 「夏のおもしろ科学館2018」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 8月18日(土) 会 場 文化創造拠点シリウス 6階 生涯学習センター
3階 マルチスペース
参加者数 414人

⑦ 「冬のおもしろ科学館2018」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展 サイエンスショー
 日 時 12月9日(日) 会 場 文化創造拠点シリウス 6階 生涯学習センター
 1階 メインホール
 参加者数 634人
 (サイエンスショー 747人)

⑧ 総合的な学習の時間等の情報提供

総合的な学習の時間の支援のため、教材研究や教材作成の相談の受付や、各学校における授業実践等への情報提供を行っています。

◎ 平成30年度の成果と平成31年度・令和元年度の課題

理科教育の相談・支援は、機器の貸出し、微小生物の提供などの他、教材研究や理科指導に関する相談も多様化し、定着してきています。

薬品廃液処理については、各学校へ理科準備室の整理と、不要な薬品の廃棄処分を呼びかけました。各学校から提出された酸・アルカリなどの廃液を計画的に回収し、適切に処理しました。環境問題がグローバル化し、クローズアップされる中で、今後も重要な事業となっていきます。

子ども科学教室では、小学校3年生から中学生を対象に、年間6回実施しました。外部機関と連携した科学教室を行うなど、内容の充実を図りました。

「夏のおもしろ科学館 2018」の参加者数が昨年度から減った要因として、実施時期が挙げられます。お盆休みを避け、次年度は8月第1週での実施を計画しています。

「冬のおもしろ科学館 2018」では、教育福祉振興会との共催による「米村でんじろう先生のサイエンスショー」を実施しました。また、出展としてはNPO団体、県立青少年センター科学部、市内外の中学校の自然科学部科学部、横浜国立大学の学生グループ、市内教職員グループ、個人の出展がありました。今後も多様な出展ができるよう、外部に呼びかけを行っています。

年2回の科学館が市民に定着してきました。来場者の増加による事故、混乱がないよう企画・運営を今後も続けていきます。

(5) 教育資料に関する事業

児童・生徒の学習効果の向上や学校や教職員等の教育研究、教育実践に資するために、教育資料を刊行するとともに、教育情報誌及び教育研究資料を収集・整理し、教職員に閲覧・貸出しを行っています。

① 教育資料の刊行

●平成30年度の刊行物

	刊 行 物	対 象	発行部数
1	教育研究所要覧	小中学校教職員・関係機関	1,300
2	所報(3回)	小中学校教職員・関係機関	各1,450
3	研究所だより(3回)	小中学校教職員	各1,500
4	研究所だより特集号 教育実践事例集	小中学校教職員・関係機関	1,300
5	ビジュアル版 大和の教育	小中学校教職員・関係機関・市民	75,000
6	まなび やまと(1回)	小中学校教職員・関係機関・市民	75,000
7	こども版まなびやまと(1回)	児童生徒・小中学校教職員 関係機関	19,000
8	小学校社会科副読本「やまと」	小学校3年生	2,300
9	中学校社会科副読本「大和」	中学校1年生	2,300
10	小学校理科副読本「大和の自然」	小学校3年生	2,200
11	研究紀要72集 教育の情報化部会研究紀要	小中学校教職員・関係機関	1,000

12	小学校理科ハンドブック 「理科のい・ろ・は～小3編～」	小中学校教職員・関係機関	1,000
----	--------------------------------	--------------	-------

●平成30年度発行の教育情報誌の内容

情報紙	発行日	内 容
平成30年度 ビジュアル版 「大和の教育」	5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校やいじめ問題の解消に向けて取り組みます (青少年相談室) ・「STOP i t」を導入します (指導室) ・子どもが落ち着いて学べる学習環境を整備します (教育総務課) ・子どもたちの学びの場を広げます (図書・学び交流課) ・「ファーストタイムプログラミング教室」を行います (教育研究所) ・一人ひとりのニーズに応じた教育を推進します (指導室) ・フォーラム・イベントにご参加ください ・お知らせします
所 報 第123号	7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「指導主事活用のすすめ」 —身近な学校教育の専門家とともに教育課題を解決するために— (神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 指導主事 本間 隆司) ・平成 28～29 年度 道徳教育に関する調査研究部会成果 ・平成 28～29 年度 教育意識に関する調査研究部会成果 ・平成 30 年度調査研究部会紹介 ・「2年目をむかえて」(平成30年度2年次教職員)
研究所だより 第117号	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「二か月が過ぎて」(教育研究所 指導主事) ・「夏のおもしろ科学館2018」の開催について ・怪しいメールとは？受信メールによるウィルス感染が増えています ・理科センター貸出し物品紹介 ・夏の研修講座のご案内
こども版 まなびやまと No.3	10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・特集 みんなで考えてみよう 災害で「いのち」をなくさないために ～逃げることは生きること～ ・自転車も乗れば車のなかまいり ・オーストラリアの小学校と交流始まる トビタテYAMATO ・大和市の児童生徒が各地を訪問 ・祝 全国大会・関東大会 出場 ・おらが学校「自然と地域に支えられた学び」(西鶴間小学校) ・ふるさと「やまと」を知ろう 図書館のまち「やまと」 ・米村でんじろう先生によるサイエンスショー 申し込み締切り間近！
研究所だより 第118号	10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「ゴッホとヒマワリ」(教育研究所 指導主事) ・教育資料室・図書資料室をご利用ください ・「冬のおもしろ科学館2018」の開催について ・理科訪問研修 ・ゲーム依存症が「病気」に認定 ・ヤマトンキャラクターデザインの使用について

所 報 第124号	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿 『『思う』ことをすることを教える指導法 －『内言表現』を遣って教える指導法－ (大草心理臨床教育相談室 大草 正信) ・平成30年度 研修講座を振り返って ・平成30年度 教育研究所発表会 ・平成30年度 教育フォーラムの概要について
研究所だより 第119号	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言「食事を楽しく」(教育研究所 指導主事) ・理科センターよりお知らせ ・平成31年度 教育研究所研修講座 ・教育ネットによる情報モラル教育支援の紹介
まなびやまと No.32	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・《国際教育の推進》 わかる つかえる たのしめる ～やまとプレクラスがスタート～ ・地域とともに児童を育てる～福祉体験教室の取り組み～ (桜丘小学校) ・「働く」を考える～通年で取り組むキャリア教育～ (草柳小学校) ・「働く」を考える～中学校でのキャリア教育～ (渋谷中学校) ・おらが学校～町のすてきな人たちから学ぼう～ (緑野小学校) ・地域との温かい絆づくり～「ばあば」に学ぶふるさと料理の会～ (下福田中学校)
所 報 第125号	3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「子どもたちの可能性を信じて」 (林間小学校 校長 西山 誠一郎) ・特別寄稿「初任の頃の思い出」 (下福田中学校 校長 西舘 健吾) ・大和市教育の情報化推進校からの報告 「主体的・対話的な児童の育成」 (南林間小学校) ・冬のおもしろ科学館2018を開催 ・米村でんじろう先生のサイエンスショーを開催
研究所だより 特集号 教育実践事例集 No.20	3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・教えて先輩！ ～児童生徒の連携による情報モラル教育～ (鶴間中学校・林間小学校) ・実践力向上研修部会 ～教員の実践力育成を目指して～ 大和市教育委員会 (指導室・青少年相談室・教育研究所)

② 教育図書・資料の閲覧と貸出し

教育専門書のほか市内小中学校発行の研究集録をはじめ、他市・県等の教育情報を収集整理し、閲覧と貸出しを行っています。

● 図書・教育資料の数 (平成30年度末)

	登録数(冊)	前年度比
教育用図書	3,990	+ 10
教育資料・雑誌	4,311	+ 62
教科書類	5,269	+ 0
計	13,570	+ 72

● 貸出し数 (平成30年度末)

	冊数
教育用図書	2冊
教育資料・雑誌	25冊
教科書類	7冊
計	34冊

③ 教育史料の収集と整理

『新版神奈川大和教育史第一巻・第二巻』発刊後、引き続き、平成元年から現在までの大和市における教育史料の収集・整理を行い、教育史第三巻（通史平成版）の発刊に向けて、史料の収集と体系化を継続します。

◇収集史料 学校関係、教育委員会関係、単位PTA関係、教育諸団体関係（教育研究会、学校保健会、PTA連絡協議会、校長会、教頭会、学校事務研究協議会、中学校体育連盟等）の組織・事業等の資料を収集します。

●平成30年度の教育史料の収集

分類	収集冊数	分類	収集冊数
行政機関	7冊	教科書関係	0冊
学校関係	63冊	教育諸団体関係	6冊

④ 大和市学校教育基本計画（後期）進行管理の取組み

推進会議開催 全12回

◎ 平成30年度の成果と平成31年度・令和元年度の課題

市内の小中学校の児童・生徒に社会科副読本「やまと」「大和」、及び理科副読本「大和の自然」を配布・補充し、多様化する教育活動のニーズに応える体制をとっています。

開かれた教育行政推進の一環として、本市教育委員会の施策内容や学校教育活動の様子を保護者や市民に紹介するために、「ビジュアル版 大和の教育」を5月に、学校教育だより「まなびやまと」を3月に発行しました。さらに、子どもが他の学校の様子を知ることができるようにするとともに、大和の教育に興味関心を持てるよう10月に「こども版 まなびやまと」を発行しました。これらの広報誌は市のホームページにも掲載し、市民はもとより市外の方にもインターネットを通して閲覧できるようにしています。

教育史第三巻（通史平成版）の編纂に向け、未収集の教育史料を、今後も継続して収集していくとともに、図書・教育資料については、その活用を更に図る必要があります。

大和市学校教育基本計画については、平成23年度末に策定した平成24年度から30年度までの7年間の後期計画の平成30年度実施計画について、進行管理を行いました。

13. 青少年相談室

(1) 青少年相談員の活動

青少年相談員は、青少年指導員・少年補導員・保護司・民生委員児童委員・中学校PTA役員・中学校教職員及び民間有志者など教育委員会が委嘱した40人で構成され、青少年の健全育成活動を行っています。

平成30年度の主な活動は、以下のとおりです。

月日	内 容	場 所	出 席 者
通年	地区別街頭補導・祭礼等特別補導・卒業式特別補導 ○非行の行われやすい場所を重点的に巡回し、問題行動の早期発見と適切な助言指導を与えるために実施 ○「大和阿波おどり」や地域の祭礼等にあわせ補導を実施 ○市内公立中学校の卒業式にあわせ補導を実施 ○計302回実施	市内全域	延1059人
5月	「大和市民まつり」における啓発活動・特別補導 ○「大和市民まつり」に青少年相談員連絡協議会として出店し、「ケータイ」「スマホ」でのトラブルはルールやマナーを守ることで防げることを広く市民にアピールするために実施 ○会場を中心に特別補導を実施	引地台公園	延50人
7月 11月	有害看板等撤去活動 ○青少年に有害な立て看板・貼り紙等の撤去活動を関係機関・関係団体の協力を得て実施 「環境浄化活動」、「青少年健全育成推進キャンペーン」	市内全域	延13人
6月	委嘱状交付式・青少年相談員連絡協議会総会 ○平成29年度事業報告及び決算報告、監査報告 ○平成30年度事業計画（案）及び予算（案） ○その他	まほろば教室	31人
7月	社会環境健全化推進街頭キャンペーン ○青少年を取り巻く社会環境の健全化への取り組みについて、市民の理解・協力を喚起するために参加 ○啓発資料の配布	大和オークシティ	4人
6月 11月	青少年相談員全体研修会 ○教育委員会指導室の指導主事による「大和市の児童・生徒の状況について」 ○アスカ法律事務所弁護士による「児童・生徒の犯罪・暴力などの被害の現状と支援」	まほろば教室	延53人
12月	青少年相談員視察研修会 ○青少年の補導活動に携わるうえで、より高い見識を持ち、効果的な指導を行うため、視察研修を実施	久里浜少年院	20人
10月 11月	市内公立中学校との情報交換会 ○各中学校の現状や学区内の状況などについて意見交換するために実施	各中学校	延101人
9月 2月	青少年相談員連絡協議会活動だより「そよかぜ」 ○相談員の活動や青少年を取り巻く諸問題について、関係機関及び市民へ周知・啓発を図るために発行 ○発行部数 8,000部×2回		

(2) 街頭補導の実施状況（平成 30 年度）

街頭補導実施回数 302 回

従事者数 延べ 1,059 人

	合計	対象少年学校・職業別							措置別						
		未 学 就	児童・生徒・学生				有 職 少 年	無 職 少 年	・ そ の 他	セ ン タ ー 処 理	児 相 通 告	福 祉 通 告	警 察 ・ 保 護 セ ン タ ー 引 継	医 療 機 関 ・ 保 健 所 引 継	そ の 他
			小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他									
不 良 行 為 等 少 年	怠学・怠業	2			2		2				2				
	金品持出・金銭濫費														
	不健全性的行為	2 (1)			2 (1)		2 (1)				2 (1)				
	飲酒・喫煙	22 (2)			17		17	5 (2)			22 (2)				
	不良交友														
	遊技場出入	12	5	7			12				12				
	不健全娯楽														
	深夜はいかい														
	刃物等所持														
	粗暴行為														
	金品不正要求														
	家出・浮浪・無断外泊														
	シンナー・薬物等乱用														
	性的いたづら														
	暴走行為等交通違反	160 (49)	16 (1)	11	114 (47)	10	151 (48)	6 (1)	3		160 (49)				
その他	64 (28)	12 (2)	23 (13)	29 (13)		64 (28)				64 (28)					
小計	262 (80)	33 (3)	41 (13)	164 (61)	10	248 (77)	11 (3)	3		262 (80)					
非 行 少 年 等	犯罪少年														
	触法少年														
	ぐ犯少年														
	要保護少年														
	小計														
合計	262 (80)	33 (3)	41 (13)	164 (61)	10	248 (77)	11 (3)	3		262 (80)					

()内の数字は女子で内数

(3) 青少年相談室の活動

青少年や保護者等から電話・来室・メールなどの相談により、課題解消に向けた支援を行っています。市立小学校に相談員を派遣し、各学校での相談に対応しています。室では心理カウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、相談に対応するとともに、学校や他機関との連携も図っています。また、青少年の健全育成のために街頭補導活動、有害看板撤去等の社会環境浄化活動も行っています。

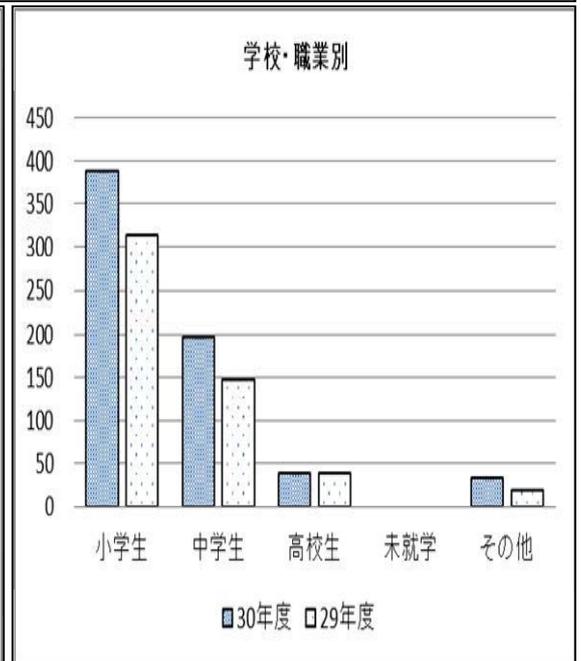
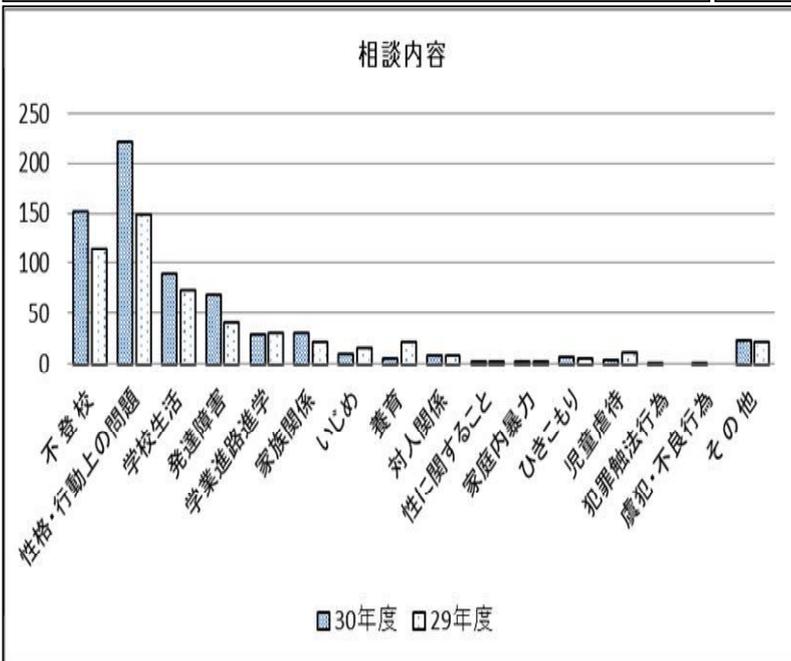
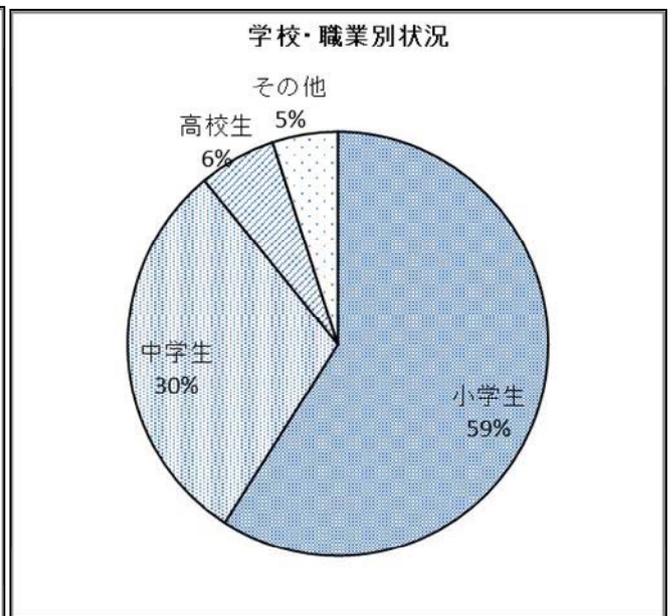
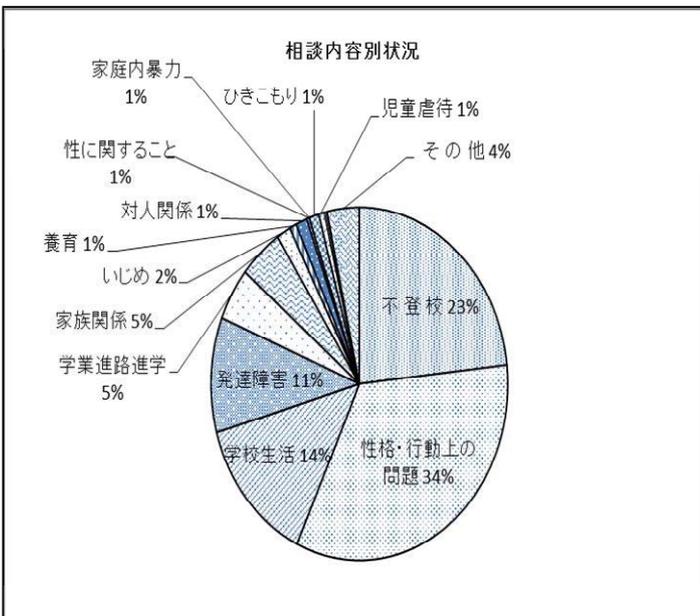
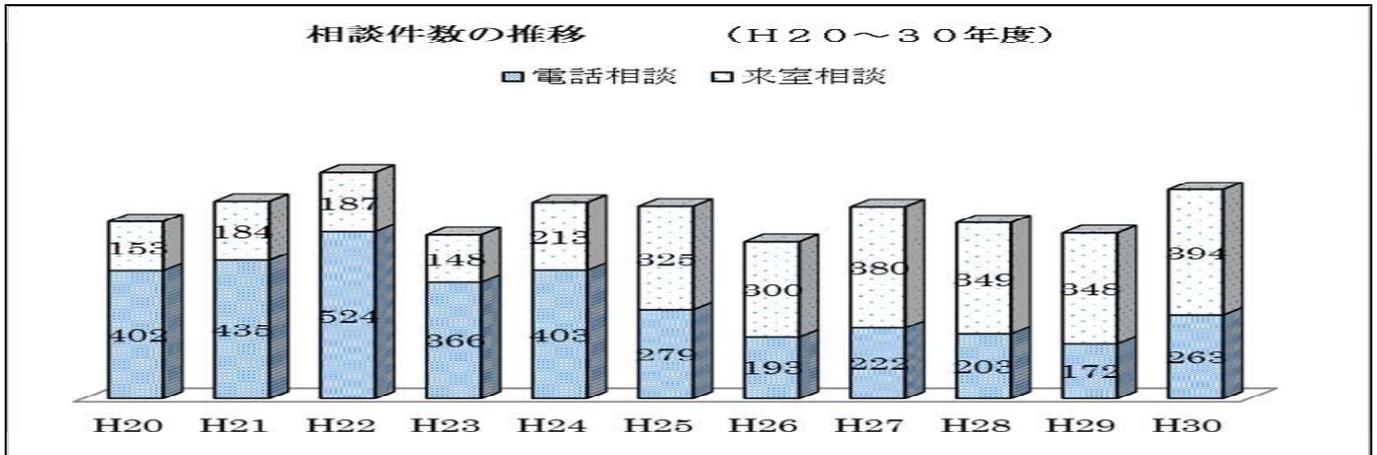
不登校生徒支援を充実させるために、教育支援教室を開設するとともに、市立小学校 10 校、中学校 9 校に不登校児童生徒支援員を派遣しています。なお、平成 30 年度の主な活動は、以下のとおりです。

月 日	主 な 活 動
5 月～ 8 月	小・中学校での研修会へ講師派遣 ○児童・生徒への対応や不登校など、諸課題に対しての教育相談活動の進め方など 講師：特別相談員 小見祐子 氏
7 月 11 月 1 月	教育相談担当者研修会 3 回実施 ○児童・生徒支援についてケースワークや情報交換を通して教育相談業務の充実を図る 講師①特別相談員 小見祐子 氏 ②すくすく子育て課家庭子ども相談 相談員 4 名 ③すくすく子育て課家庭子ども相談 係長 坂本勝敏 氏
7 月～ 8 月	青少年相談室夏季研修講座 3 回実施 ○児童虐待の見立てや対応、不登校児童・生徒への対応について 講師①神奈川県中央児童相談所 児童福祉司 矢後芳明 氏 ②・③特別相談員 小見祐子 氏
7 月	青少年健全育成講演会 ○青少年健全育成への理解の推進と市民への啓発を目的に開催 講演：「家族関係を基にした子どもや家庭への支援」 講師：大正大学心理社会学部臨床心理学科 教授 玉井邦夫 氏
7 月～ 8 月	社会環境実態調査 ○インターネットカフェ、古書店、複合店、コンビニエンスストア等の状況を調査 (平成 30 年度 24 店)
7 月～ 2 月	医療相談員（医師）による個別相談 5 回実施 ○医療のアプローチが必要だと感じている保護者、教職員に対して、個別相談を実施 医療相談員：鈴木泰代 氏
7 月～ 1 月	不登校を考える保護者会 4 回実施 ○不登校児童生徒の保護者とともに、相互支援を図るために開催 講師：特別相談員 小見祐子 氏
4 月～ 7 月	不登校児童生徒支援員研修会 2 回実施 ○不登校児童・生徒支援について研修を深め、情報交換などを通して不登校支援業務の充実を図る 講師：特別相談員 小見祐子 氏
4 月	児童・生徒支援 研修会 4 回実施 ○中学校区を単位とした児童支援中核教諭・小中教育相談コーディネーター担当教諭による相互支援、特別相談員の助言による、教育相談等、児童・生徒支援活動の充実 講師：特別相談員 小見祐子 氏
3 月	中学校教育相談コーディネーターと青少年相談室相談員の情報交換会 3 回実施 ○次年度、中学校就学生徒についての情報交換 講師：特別相談員 小見祐子 氏

(4) 青少年相談室の相談受理状況(電話相談・来室相談)

青少年自身の悩み、青少年が起こす問題行動に悩む保護者などからの相談を受け、その課題解消を支援します。

平成30年度の相談件数は、電話相談263件、来室相談394件、合計657件で、相談内容等は次のグラフのとおりです。



(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置

① 県費スクールカウンセラーの派遣（各中学校に派遣）

学校における教育相談体制の充実を図るため、県からスクールカウンセラーが各中学校に派遣されています。スクールカウンセラーは、生徒や保護者への教育相談やカウンセリング、教職員へのコンサルテーション、外部機関と連携協力、特別支援教育のコーディネートなど、生徒が有意義な学校生活を過ごせるよう支援しています。

平成 30 年度の相談内容や相談者は次の通りです。

相 談 内 容			相 談 者		
① 不登校	631 件	20.5%	① 中学 1 年	314 人	10.2%
② いじめ	37 件	1.2%	② 中学 2 年	366 人	11.9%
③ 暴力	14 件	0.5%	③ 中学 3 年	430 人	14%
④ 虐待	14 件	0.5%	④ 教職員	553 人	17.9%
⑤ 友人・異性関係	341 件	11.1%	⑤ 保護者	1,418 人	46%
⑥ 貧困	0 件	0%			
⑦ 非行	32 件	1.0%			
⑧ 家庭環境	388 件	12.6%			
⑨ 教職員との関係	91 件	3%			
⑩ 心身の健康・保険	447 件	14.5%			
⑪ 学業・進路	176 件	5.7%			
⑫ 発達	443 件	14.4%			
⑬ その他	467 件	15.2%			
合 計 3,081 件 (1 校平均 342.3 件)					

② 不登校児童生徒支援員の配置

不登校対策として、市立中学校に不登校生徒支援員を 1 名ずつ配置しており、平成 30 年度より市立小学校 10 校に不登校児童支援員を配置しています。不登校児童生徒支援員は、学校生活で配慮が必要な児童・生徒への学習支援や教育相談、家庭訪問などの支援を行っています。

(6) 教育支援教室「まほろば教室」

不登校児童生徒を対象に、相談活動、学習支援、人間関係づくりへの支援などを組織的・計画的に実施し、児童生徒の「生きる力」の伸長を目指し、在籍校の復帰も視野に入れて「まほろば教室」を設置しています。

① 月別通室状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	20	23	26	25	28	30	32	34	34	38	39	39

○通室人数 40 人

○通室児童生徒の学年内訳

小学校	中学校
4年 男子 1人 女子 1人	1年 男子 0人 女子 4人
6年 男子 2人 女子 1人	2年 男子 6人 女子 5人
	3年 男子 8人 女子 12人

○通室児童生徒の卒業や復学状況

学校復帰(部分登校を含む).....	34人	→	学校復帰1人	部分登校33人
登校しないまま卒業.....	1人			
登校しないまま進級.....	4人			
転出.....	1人			

保護者会・授業参観

	月日	内 容
1	5~2月	まほろば保護者会4回(延35人参加)
2	12.8	おたのしみ会(保護者、学校担任等とともに開催、計38人参加)
3	3.13	まほろば旅立ちの会(保護者・学校担任等とともに開催17人参加)

② 通室児童生徒の担任と相談室との情報交換

	月日	内 容	参加者数
1	7.20 ~8.25	7月までの情報交換と9月からの方向性について協議	12人
2	12.25 ~1.5	1、2年生：学校復帰に向けた情報交換 3年生：進学、卒業に向けた情報交換	17人
3	2.19 ~3.23	進級時期を迎えるにあたっての情報交換	11人